

事業報告

2018年度の取り組みと成果



1. 大学・大学院
2. 中学校・高等学校
3. 財政健全化
4. ガバナンスの構築及び運営組織の見直し
5. キャンパス整備
6. 各キャンパス施設設備の整備
7. その他、継続する諸課題
8. 推進のための点検評価



▶ 序文 ◀

世界では国連によりSDGsが提唱され、IoTやAI等の活用による超スマート社会が進展している。そうした中、日本は急速な少子高齢化を迎え、生産性向上やグローバル化が課題となり、中央教育審議会答申では予測不可能な時代を生きる人材を育成すべく、学修者本位で多様性ある教育が提言され、教育への期待と責務が大きくなっている。

本学園においては、学園中長期計画(TDU Vision 2023)の5年目として建学の精神、教育・研究理念に基づく各種事業を推進した。

『1.大学・大学院』では、全学的改編の一環として理工学部3学系新設と工学部第二部社会人課程(実践知重点課程)を設置したほか、ものづくりセンターの本格運用を開始した。教育面では、魅力ある大学院改編の準備、全学初年次科目の導入準備、全学共通の学事日程、時間割の導入(除く情報環境学部、工学部第二部)を行った。学生募集状況や就職状況はいずれも大変好調となった。研究面では、2017(平成29)年度に選定された私立大学研究ブランディング事業を推進したほか、研究資金の獲得に尽力した。

『2.中学校・高等学校』では、学習指導要領改訂や高大接続改革を踏まえ、さらに充実した教育体制を整備するとともに教員のスキルアップを図った。大

学入学共通テストへの対応、東京電機大学との連携拡充を推進し理工系を意識した募集活動を実施した。またグラウンドの人工芝化を行い運動施設の充実を図った。

『3.財政健全化』については、学費改訂、各種補助金や研究資金の獲得、経常的経費、施設・設備改修・更新事業の見直し等を進め、また予算を大幅に上回る一時的な収入により、決算値は前年度より改善されたが、本質的に財務体質は変わらず、厳しい状況が続いている。

『4.ガバナンスの構築及び運営組織の見直し』では、折返点である5年目を迎える中長期計画の改訂を行ったほか、学長選考委員会による学長の実績評価、また教授会の同時開催を開始した。情報環境学部と同研究科は4月より東京千住キャンパスで授業開始、出版局は9月より東京神田キャンパスから東京千住キャンパスに移転した。

本学園は、私立の教育・研究機関として特色ある人材育成と研究推進、自立した運営体制の確立を目指してきた。教職員は創立者の思いを受け継ぎ、学生・生徒主役を旨としてそれぞれの役割を認識しつつ、互いに連携、協力、新たなチャレンジに挑むことで、未来に責任を持ち、一層輝き続ける強い学園を目指す。

学校法人東京電機大学の 中長期計画について

「学校法人東京電機大学中長期計画
～TDU Vision 2023～」(改訂前)

社会環境の変化に適応し輝き続ける
東京電機大学の実現

I. 大学・大学院:理工系私立大学のトップを目指す ～全学的改編と縦型・横型統合的教育～

II. 中学校・高等学校:教育のさらなる充実と財政基盤の安定化

III. 財政健全化の推進

IV. ガバナンス構築と運営組織の見直し

V. 推進のための点検評価

*以下本文については、中長期計画書の項目別に掲載しました。

1. 大学・大学院

学園創立110周年記念事業及び全学的改編の一環として、2018(平成30)年4月に理工学部3学系及び工学部第二部社会人課程(実践知重点課程)を設置した。

教育面では、全学的改編の特色である縦型・横型統合的教育の推進を目指す大学院改編計画の策定、実学尊重を具現化する「ものづくりセンター」の本格運用、大学教育再生加速プログラム(AP)の推進及び2019(令和元)年度の全学的初年次科目の導入準備を行ったほか、全学的に統一授業時間(100分授業)及び時間割を導入した(除く情報環境学部、工学部第二部)。研究面では、文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を推進したほか、社会に貢献する各分野の研究を推進した。

学生の仲間づくりやイベントの活性化、学生支援体制の充実等を通じた休退学者の縮減を目指し、各種取り組みを実施した。グローバル化については、留学生の受け入れ、語学研修等送り出しに注力した。低学年からのキャリア支援を目指した就職状況は非常に好調となり、学生募集では新たな手法の導入や安全志向等もあり大幅な志願者増を達成した。

また、2018(平成30)年度私立大学総合支援事業において「教育の質的転換」「産業界との連携」「プラットフォーム形成」の3タイプの項目で選定された。

1. 理工系私立大学のトップを目指す(同種同規模校)

1 特色ある教育推進と大学院進学率40%の実現

- 全学統一授業時間(除く情報環境学部、工学部第二部)の導入(100分授業)
- 全学的初年次科目の2019(令和元)年度開講に向けた設計とテキスト開発
- ものづくりセンターによる教育支援として各種講習会開催(約1,000名)と利用者要望に基づく機材等の購入
- 大学教育再生加速プログラム(AP)の計画に沿った反転授業やアクティブラーニング授業の増加推進
- シラバス記載事項の全学的方針の作成
- 教育の質保証に向けたFD/SDセミナーの開催(7回 約900名参加)
- 魅力ある大学院改編計画の策定

2 研究費は獲得目標額に対して競争的資金約30%増、科学研究費補助金約15%増、その他研究費55%増を達成

3 公開講座や産官学連携としてME講座開講、足立区委託事業推進等の社会貢献実施等

2. 全学的改編への対応

1 新分野を含めた教育・研究組織の再編成

- 理工学部: 生命科学系、機械工学系、電子工学系の設置
オナーズプログラムの準備(次世代技術者育成プログラム:宇宙工学、生体医工学、環境工学)(2020(令和2)年度開始)
- 工学部第二部: 社会人課程(実践知重点課程)設置、入学定員増

2 情報環境学部と同研究科の東京千住キャンパス移転後の調整・対応





3. 大学院の拡充整備と学士課程・修士課程の統合的教育への移行

1 大学院改編(最終報告)の作成

- 2017(平成29)年度開設のシステムデザイン工学部を基礎とする修士課程
- 学士課程・修士課程6年統合的教育
- 大学院に軸足を置いた教育
- 魅力的な学際領域の教育課程として「創造工学ユニット」

4. 社会人教育の充実

1 社会人の博士学位取得を目指した広報の拡充

2 工学部第二部実践知重点科目を活用した履修証明プログラム等の社会人プログラムの開講、企業訪問による社会人課程等の募集活動実施

5. 研究推進・支援の実施

1 CRCフォーラムの年間3回の実施と大学院生の参加促進

2 コーディネーターによる研究グループ編成支援(現在2グループ)

3 ものづくりセンターの技術相談・指導(約300件)、加工委託(約100件)

4 私立大学研究ブランディング事業の積極的な推進及び総合研究所のプロジェクト研究所として先端レーザー技術研究所の開設

6. グローバル化の推進

1 意欲ある留学生の受け入れのための募集活動の充実、留学生向けチューター制導入、各キャンパスにおける日本語教員の配置

2 日本人学生の海外留学、海外派遣数の拡大に向けた説明会や体験講演会の開催

3 大学グローバル化の支援活動としてのIELTS講座やグローバルSD研修等の開催

7. 学生確保(質及び量の確保)

1 受験者及び入学者の質の向上策の展開

- センター、一般入試志願者 28,221名(前年比121.9%)大幅増
- 志願者確保、質の向上を図るナーチャリング広報の展開
- 英語外部試験導入で志願者1,567名確保、数学満点選抜入試の工学部第二部導入、センター利用試験(後期)の告知
- 大学入学共通テストへの対応として2020(令和2)年度入試概要を2年前倒しで策定

8. 学生支援体制の確立

1 厚生補導體制の充実(休退学者の縮減も見据える)

- リーダーズキャンプでのリーダー学生の育成や運営の効率化、改善の実施
- 精神健康調査(GHQ)結果の学生相談室、学科・学系との共有
- キャンパスイベントとして学生が運営する「スポーツ大会」の運営支援
- 他大学や本学中高との連携・協力したイベントへの支援

2 休退学者の縮減

- 除籍・退学率2%以下への縮減に向けたきめ細かい助言・対応の実施
- 様々な仲間づくり支援、団体加入率向上の取り組みの実施

3 就職支援体制の充実

- 良好な就職環境を背景にした、求人数220,716人(前年比6.3%増)、求人情数15,590社(前年比4.9%増)達成
- 進路決定状況は99.1%(研究科・学部(工学部第二部を除く))を確保
- 就職活動の早期化対応として企業説明会等の早期実施
- 新たな企業説明会の開催等、早期の進路決定に向けた支援充実
- 技術士など多様な資格試験に繋がる講座の開講(約250名参加)

9. 社会貢献の推進

- 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」継続開講
- 実践知プログラム(履修証明プログラム)の文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定及び厚生労働省 教育訓練給付制度(一般教育訓練)指定

2. 中学校・高等学校

学習指導要領改訂や高大接続改革を踏まえ、より充実した教育体制を整備するため、学習到達度の確認や補習を通し学力維持・向上を図った。また教員研修等を充実させた。国公立大学合格者は大学入試環境の変化や生徒数の少ない学年であったことも影響し、30人以上には至らなかった。収支面では、中学校・高等学校での学費不均衡を解消したほか、サポート募金の協力依頼を行った。大学入学共通テストへの対応、東京電機大学との連携充実を推進するとともに理工系を意識した広報活動を強化する一方、グラウンド改修を行い運動施設の充実を図った。

1. 教育改善と高大連携

- 1 「国公立大学合格者30人以上」を目指す取り組みの継続
- 2 臨時的任用教諭の規程の整備及び入試広報室に教員を配置する等、体制整備の実施
- 3 クラスの効果的編成による学力レベルの動向調査の継続
- 4 小テスト、補習等の新規実施、教員対象研修会、勉強会開催
TDU4D-Labで東京電機大学教員の講義実施
- 5 短期・中期計画における学習指導要領改訂、高大接続改革を踏まえた目標再設定



2. 収支改善

- 1 中学校・高等学校学費不均衡の解消
- 2 校務運営体制として36学級の維持
- 3 環境整備等に関するサポート募金の増加

3. 継続課題

- 1 生徒募集活動として、文化祭前の塾訪問やネット出願によるデータ分析の実施、理工系イベントの開催



3. 財政健全化

(2023(令和5)年度以降の早期に事業活動収支差額比率10%超の達成)

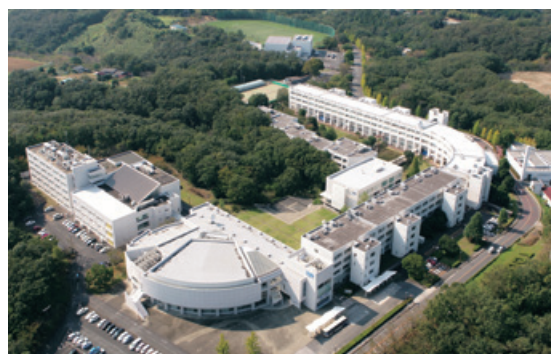
資金収支では、東京神田キャンパス15号館の売却収入、遺言によるサポート募金への高額寄付、私立大学等経常費補助金の交付額及び大学における入学志願者増による検定料収入の増加と、施設・設備の改修・更新事業の実施年度の一部見直しによる支出の減少により、一時的に翌年度繰越支払資金(現金預金)の収入超過となった。

財政健全化の指標である事業活動収支差額比率10%を2023(令和5)年度以降の早期に達成するためには、以下に掲げる財政健全化実行計画を着実に実行していくことが求められており、厳しい財政状況のなか、学費改訂、人件費見直しなど収入増、支出抑制のための施策を進めた。



〈財政健全化実行計画〉

1. 学費改定による学生生徒等納付金を含む各種収入の増加
2. 事業活動収入に対する人件費比率45%以下を目指す人件費を含む経費の削減
3. 予算枠見直しによる経費削減



4. ガバナンスの構築及び運営組織の見直し

中長期計画は、2019(令和元)年度で6年目を迎えるため事業推進状況などを踏まえた改訂を行った。また、教学におけるガバナンス構築を図るとともに、情報戦略の推進とIRデータの利活用促進を図った。内部監査とコンプライアンス強化の継続的な取り組みを行った。効率的な大学運営を目指したほか、新たな部署設置、人事施策を実施した。

1. ガバナンスの構築

- 1 中長期計画の5年間の社会環境や事業推進状況を踏まえた改訂の実施
- 2 学長選考委員会で現学長の任期3年終了後の実績評価等の実施
- 3 情報戦略ポリシーに基づく規程やガイドライン策定の推進及び学園全体のセキュリティ強化、情報倫理の定着を図るe-learning講座の開講
- 4 内部監査の実施及び指摘事項に基づく旅費規程の改正、行動規範の周知徹底
- 5 IRセンターでのBIツール導入促進、統合DBの整備着手
- 6 IRセンターウェブサイトでの各種分析データやアンケートの集計結果の公開



2. 管理運営組織の見直し

- 教授会全学部同時開催の開始、人材育成として事務職員1名の文部科学省派遣
- 働き方改革法施行を踏まえた準備
- 東京千住キャンパス事務部「事業推進担当」の新設準備

3. 人事諸施策の策定

- 大学教員:2018(平成30)年度より「教員の自己点検評価制度」の開始
- 中高教員:「望まれる教員像」の策定
- 事務職員:新職種創設案の作成



5. キャンパス整備

千葉ニュータウンキャンパスは、情報環境学部の移転後の施設利用と同キャンパス活用策の検討を継続した。また東京神田キャンパス譲渡及び出版局の東京千住キャンパス移転及び書庫建設等の整備事業を推進した。



1. 東京千住キャンパスへの集約に向けた検討

- 1 2018(平成30)年4月の情報環境学部他の東京千住キャンパス移転後の対応

2. 東京千住キャンパスへの集約後の各キャンパスの活用方法等の策定

- 1 千葉ニュータウンキャンパスの施設利用の継続
- 2 東京神田キャンパス譲渡及び出版局の東京千住キャンパス移転、書庫建設

6. 各キャンパス施設設備の整備

中長期更新、改修計画等に基づき、各キャンパスの施設整備並びに東京小金井キャンパスの教育環境充実の整備を行ったほか、情報インフラでは、教学・法人システムのソフト他の更新等を実施した。

1. 主たる施設設備の中長期更新・改修計画に基づく事業の推進
 - 1 埼玉鳩山キャンパスの電気・空調設備、内装、エレベータ他改修等を実施
2. キャンパスアメニティ向上等のための施設設備の更新
 - 1 東京小金井キャンパスのグラウンド人工芝化の実施
3. 情報インフラの整備拡充、ICTの面からの教育研究活動の支援
 - 1 教学システムUNIPAのバージョンアップ、法人プリントシステム他更新



7. その他、継続する諸課題

学園力強化を目指し、卒業生との連携強化を促す環境作りに注力した。また、さらなる募金活動の推進を図ったほか、出版局は東京千住キャンパス移転後の体制整備を行った。その他、理事会付帯事項の推進を図った。

1. 諸課題
 - 1 卒業生（校友会）との連携強化の前提となる統合DBの2019（令和元）年度導入決定
 - 2 出版局の東京千住キャンパスに伴う計画的な事業推進（新刊23点）

2. 理事会付帯事項

- 1 「嘱託制度等の見直しの再検討」に係る新たな方針について
 - 大学：超過講義の取扱い明確化、授業責任時間の改善と手当ての実質化、教員人事制度の諸準備推進、また自己点検評価の開始
 - 中学校・高等学校：財政健全化の推進と定年延長者の処遇（人材活用方法）の見直し
 - 事務・技術：各種手当の見直しや非正規雇用者の見直し



8. 推進のための点検評価

長期計画（10年計画）の5年目である2018（平成30）年度までの中間点検評価を2019（平成31）年度に実施予定であるとともに、中長期計画に可能な範囲で数値目標設定が付帯された。

財務情報

- 財務ハイライト
- 資金収支計算
- 事業活動収支計算
- 貸借対照表
- 経年比較



財務の概要 (2018年度)

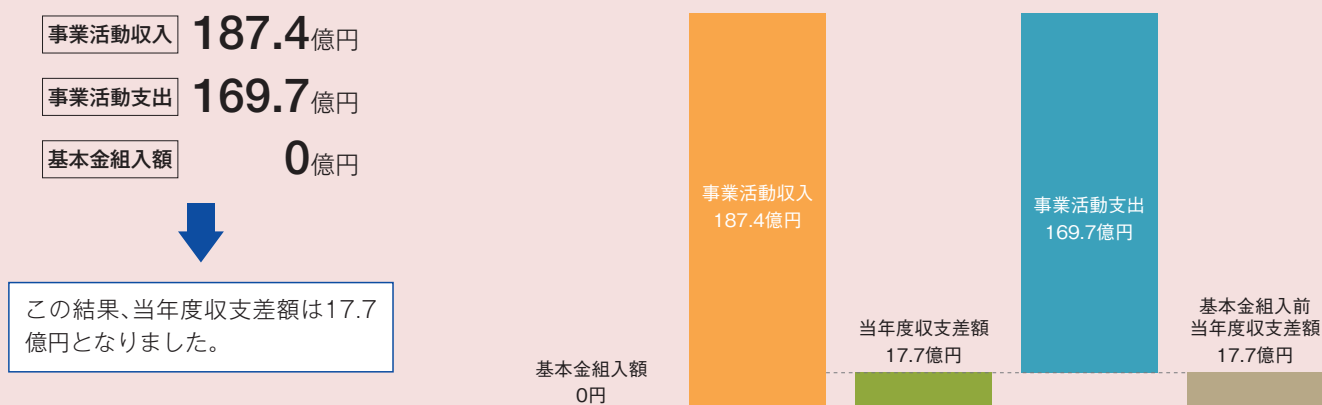
財務ハイライト

学校法人東京電機大学の2018年度決算は、2019年5月31日開催の評議員会・理事会において承認されました。2018年度決算の概要は次のとおりです。

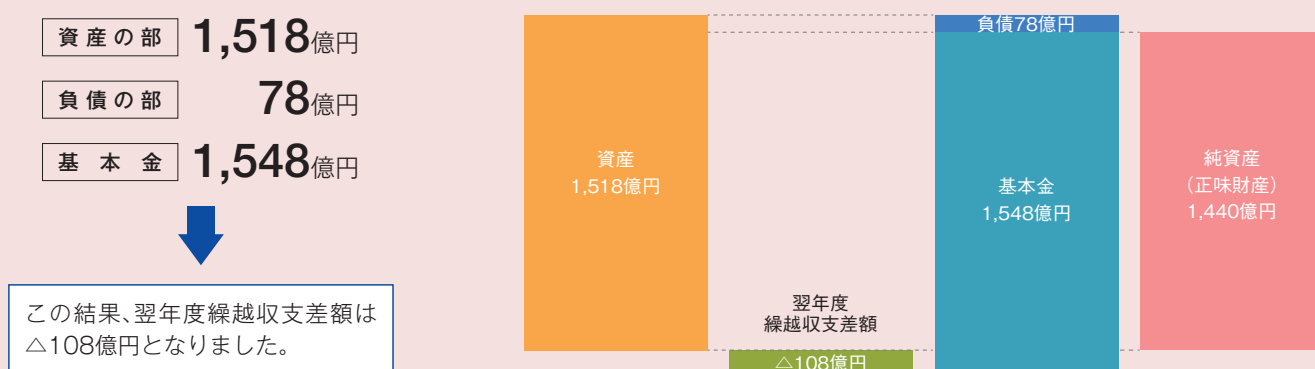
資金収支計算



事業活動収支計算



貸借対照表 2018年度末(2019年3月31日)



2018年度に学園が優先的に取り組んだ主な事業

[一般会計]

(1) 教育設備更新事業

(単位：千円)

事業内容	経費
構造物動的加力試験装置	49,896
計	49,896

[特別事業会計]

(1) 施設・設備改修更新事業

(単位：千円)

事業内容	経費
埼玉鳩山キャンパス1～3号館電気設備・内装改修工事	149,039
埼玉鳩山キャンパス10号館エレベータ更新工事	17,280
埼玉鳩山キャンパス11・12号館空調機更新工事	25,380
法人システム更新関連経費	62,672
教学システム更新関連経費	52,363
計	306,734

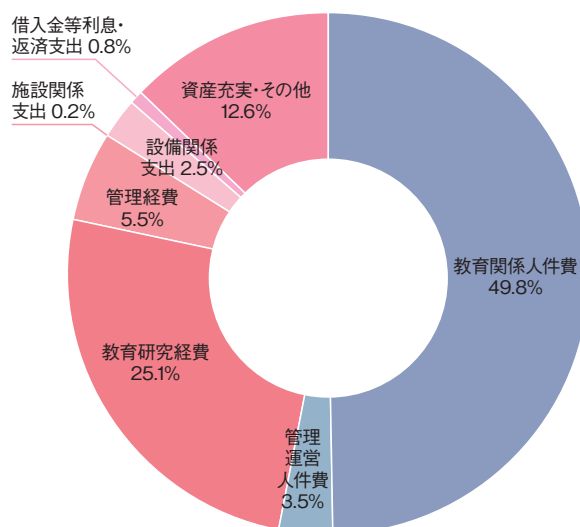
(2) 臨時事業

(単位：千円)

事業内容	経費
システムデザイン工学部設置に係る機械装置備品の購入経費	12,238
埼玉鳩山キャンパス学生厚生施設及び教育施設拡充事業	69,212
千葉ニュータウンキャンパス電気設備他改修工事	76,862
東京小金井キャンパスグラウンド等改修工事	232,200
出版局移転事業	179,221
計	569,733

学費・補助金収入の使われ方 (2018年度決算数値より)

2018年度の学費収入と国や地方公共団体等からの補助金収入を100とした場合の使用状況は次のとおりです。



経費の内訳	比率
教育関係人件費	49.8%
管理運営人件費	3.5%
教育研究経費	25.1%
管理経費	5.5%
施設関係支出	0.2%
設備関係支出	2.5%
借入金等利息・返済支出	0.8%
資産充実・その他	12.6%

次のページから学校法人会計基準に基づく2018年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の財務計算書を報告いたします。

資金収支計算

資金収支計算書について (学校法人会計基準第6条の要旨)

当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金預金)の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的としています。

収入の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	14,121,141	14,027,552	93,589
手数料収入	604,271	700,183	△ 95,912
寄付金収入	217,000	386,263	△ 169,263
補助金収入	1,753,526	1,925,884	△ 172,358
資産売却収入	3,054,285	3,154,285	△ 100,000
付随事業・収益事業収入	261,582	378,790	△ 117,208
受取利息・配当金収入	205,703	207,650	△ 1,947
雑収入	469,356	521,697	△ 52,341
借入金等収入	0	500	△ 500
前受金収入	2,554,443	2,517,955	36,488
その他の収入	931,798	1,269,118	△ 337,320
資金収入調整勘定 ^(※1)	△ 2,499,554	△ 2,697,818	198,264
前年度繰越支払資金	4,912,079	7,266,244	△ 2,354,165
収入の部合計	26,585,630	29,658,303	△ 3,072,673

※1 資金収入調整勘定：当年度の収入科目が、前年度又は翌年度に入金となる場合の調整科目です。具体的には前年度以前に徴収済みの前受額を「前期末前受金」、当年度末の未収額を「期末未収入金」として表示します。

支出の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	8,585,947	8,514,736	71,211
教育研究経費支出	4,508,282	4,250,495	257,787
管理経費支出	1,006,672	913,839	92,833
借入金等利息支出	3,391	3,390	1
借入金等返済支出	116,710	116,710	0
施設関係支出	993,600	635,896	357,704
設備関係支出	577,281	474,399	102,882
資産運用支出	3,862,228	7,296,429	△ 3,434,201
その他の支出	117,446	360,611	△ 243,165
予備費	(72,892) 2,108		2,108
資金支出調整勘定 ^(※2)	0	△ 200,095	200,095
翌年度繰越支払資金	6,811,965	7,291,893	△ 479,928
支出の部合計	26,585,630	29,658,303	△ 3,072,673

※2 資金支出調整勘定：当年度の支出科目が、前年度又は翌年度に支出となる場合の調整科目です。具体的には前年度以前に支払資金の支出となったものを「前期末前払金」、翌年度以後に支払資金の支出となるものを「期末未払金」として表示します。

■予算と決算の差異の主な理由

①収入の部

- 学生生徒等納付金収入(93,589千円減少)
学費納入者が積算人数より減少し、納付額が予算計上額を下回りました。
- 手数料収入(95,912千円増加)
志願者数の増加により、予算計上額を上回りました。
- 寄付金収入(169,263千円増加)
サポート募金への高額寄付及び研究奨励寄付金の増加により、予算計上額を上回りました。
- 補助金収入(172,358千円増加)
国庫補助金の私立大学等経常費補助金(一般補助)において、算定に係る増減率が好転し、補助金収入が予算計上額を上回りました。
- 資産売却収入(100,000千円増加)
債券の早期償還により、売却収入が予算計上額を上回りました。
- 付随事業・収益事業収入(117,208千円増加)
受託研究等の増加により、研究収入が予算計上額を上回りました。
- 雑収入(52,341千円増加)
依頼等退職者の増加による財団からの交付金収入及び施設の学外貸与件数の増加による施設設備利用料収入が予算計上額を上回りました。
- その他の収入(337,320千円増加)
サポート募金の各事業の財源として取崩した特定資産及び前期末未収入金収入等が予算未計上となり差異となりました。

■予算と決算の差異の主な理由

②支出の部

- 人件費支出(71,211千円減少)
大学教員の採用計画の変更により、予算計上額を下回りました。
- 教育研究経費支出(257,787千円減少)
全般的な経費節減等により、予算計上額を下回りました。
- 管理経費支出(92,833千円減少)
全般的な経費節減等により、予算計上額を下回りました。
- 施設関係支出(357,704千円減少)
特別事業予算の未使用及び節減により、予算計上額を下回りました。
- 設備関係支出(102,882千円減少)
助成事業(設備・装置助成他)の予算未使用により、予算計上額を下回りました。
- 資産運用支出(3,434,201千円増加)
東京神田キャンパス15号館売却収入を特定資産に繰入れたことにより、予算計上額を上回りました。
- その他の支出(243,165千円増加)
前年度確定数値(前期末未払金支払支出)が予算未計上となり差異となりました。

事業活動収支計算

事業活動収支計算書について (学校法人会計基準第15条の要旨)

当該年度の①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、①、②以外の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した当該年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としています。

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
教育活動収入計	17,226,486	17,870,205	△ 643,719
教育活動支出計	17,511,624	16,899,203	612,421
教育活動収支差額 ①	△ 285,138	971,002	△ 1,256,140
教育活動外収入計	209,093	210,061	△ 968
教育活動外支出計	3,391	3,390	1
教育活動外収支差額 ②	205,702	206,671	△ 969
経常収支差額 ③	△ 79,436	1,177,673	△ 1,257,109
特別収入計	743,885	659,215	84,670
特別支出計	27,508	71,374	△ 43,866
特別収支差額 ④	716,377	587,841	128,536
予備費	17,115	—	17,115
基本金組入前当年度収支差額 ⑤	619,826	1,765,514	△ 1,145,688
基本金組入額合計 ⑥ (*1)	0	0	0
当年度収支差額	619,826	1,765,514	△ 1,145,688
前年度繰越収支差額	△ 19,771,950	△ 15,151,070	△ 4,620,880
基本金取崩額 ⑦ (*2)	1,472,527	2,571,838	△ 1,099,311
翌年度繰越収支差額	△ 17,679,597	△ 10,813,718	△ 6,865,879

(参考)

事業活動収入計	18,179,464	18,739,481	△ 560,017
事業活動支出計	17,559,638	16,973,967	585,671

※1 学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額を表します。基本金取崩額がある場合にはその差額を表示することになりますが、取崩額が組入額を超える場合には0表示となります。

※2 資産売却や処分等による当該基本金の取崩額を表します。基本金取崩額が組入額を超える場合には、その超える金額を表示します。

■予算と決算の差異の主な理由

- ① 教育活動収支差額 (1,256,140千円増加)**
事業活動収入では、学生生徒納付金以外の収入科目が増加し、事業活動支出では、大半の支出科目が減少したため、予算計上額を大幅に上回りました。
- ② 教育活動外収支差額 (969千円増加)**
事業活動収入の受取利息・配当金が外国債券の金利上昇により、予算計上額を若干上回りました。
- ③ 経常収支差額 (1,257,109千円増加)**
主に経常的な本業の教育活動の収支である教育活動収支差額が増加し、経常収支差額は予算計上額を上回りました。
- ④ 特別収支差額 (128,536千円減少)**
事業活動収入において、助成事業(装置・設備助成他)の未実施に伴う補助金の減収があり、事業活動支出において、機器備品及び図書資産処分差額を計上したため、予算計上額を下回りました。
- ⑤ 基本金組入前当年度収支差額 (1,145,688千円増加)**
主に経常的な本業の教育活動の収支である教育活動収支差額が増加したことにより、基本金組入前当年度収支差額は予算計上額を上回りました。
- ⑥ 基本金組入額合計 (増減0)**
当年度の資産除却額が資産取得額を上回ったため、基本金組入額は0となりました。
- ⑦ 基本金取崩額 (1,099,311千円増加)**
当年度の資産取得額が予算を下回ったことに加え、資産除却額が大幅に予算を上回ったため、その差額を基本金取崩額として追加計上したことにより差異が生じました。

基本金の取崩額の内訳及び2019年3月末の基本金は、次のとおりです。

	基本金取崩額	2019年3月末 基本金
(第1号基本金)		148,229,679千円
本年度取得資産額 (自己資金による支払分)	1,110,294千円	
本年度取得資産額 (寄贈分)	41,270千円	
前年度取得資産に係る 未払金の本年度支払額	76,785千円	
過年度取得資産に係る 借入金返済金額	206,100千円	
本年度除却額	△ 4,006,287千円	
	△ 2,571,838千円	
(第2号基本金)		0千円
該当なし		
(第3号基本金)		5,500,000千円
該当なし		
(第4号基本金)		1,120,000千円
該当なし		

貸借対照表

貸借対照表について (学校法人会計基準第32条の要旨)

資産の部、負債の部及び純資産の部の科目ごとに、当該会計年度末の額を前会計年度末の額と対比して、当該会計年度末の財産の状態を表すものです。

資産の部

(単位：千円)

科目	年度	2017末	2018末	増減
固定資産		142,898,987	144,314,675	1,415,688
有形固定資産		110,281,709	105,679,811	△ 4,601,898
特定資産		31,362,092	37,412,581	6,050,489
その他の固定資産		1,255,186	1,222,283	△ 32,903
流動資産		7,460,371	7,525,700	65,329
資産の部合計		150,359,358	151,840,375	1,481,017

■貸借対照表各科目の主な増減理由

①資産の部

- **有形固定資産 (4,601,898千円減少)**
東京神田キャンパス15号館の売却に伴い、有形固定資産が減少しました。
- **特定資産 (6,050,489千円増加)**
減価償却資産の更新資金の積立及び東京神田キャンパス15号館売却収入の教育施設設備充実積立引当特定資産への繰入れにより、特定資産が増加しました。
- **その他の固定資産 (32,903千円減少)**
長期前払金の一部流動資産への振替及び長期貸付金の返済により、その他の固定資産が減少しました。
- **流動資産 (65,329千円増加)**
未収入金の増加により流動資産が増加しました。

②負債の部

- **固定負債 (257,792千円減少)**
長期借入金のうち、1年未満に返済予定の金額を短期へ振替えたこと、及び退職給与引当金の繰入調整を行ったことにより、固定負債は減少しました。
- **流動負債 (26,705千円減少)**
未払金の減少に伴い流動負債は減少しました。

③純資産の部

- **基本金 (2,571,838千円減少)**
資産除却額が取得額を上回ったことにより、基本金を取崩しました。
- (繰越収支差額)
- **翌年度繰越収支差額 (4,337,352千円増加)**
教育活動収支の改善及び基本金取崩により、翌年度繰越収支差額が増加しました。

負債及び純資産の部

(単位：千円)

科目	年度	2017末	2018末	増減
負債の部		8,088,912	7,804,415	△ 284,497
固定負債		4,290,597	4,032,805	△ 257,792
流動負債		3,798,315	3,771,610	△ 26,705
純資産の部		142,270,446	144,035,960	1,765,514
基本金 ^(※1)		157,421,516	154,849,678	△ 2,571,838
繰越収支差額		△ 15,151,070	△ 10,813,718	4,337,352
負債及び純資産の部合計		150,359,358	151,840,375	1,481,017

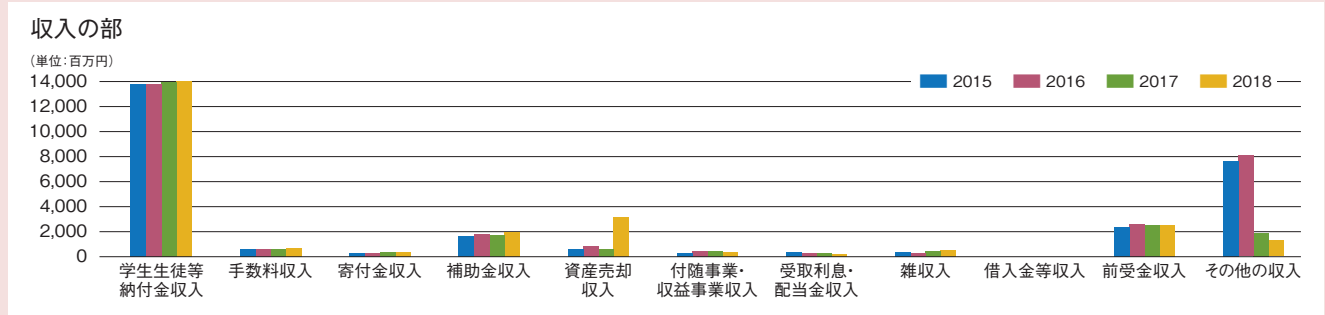
※1 学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れた金額です。

◎わかりやすくするため、決算報告書の貸借対照表と年度の並び順を変更して表示しています。

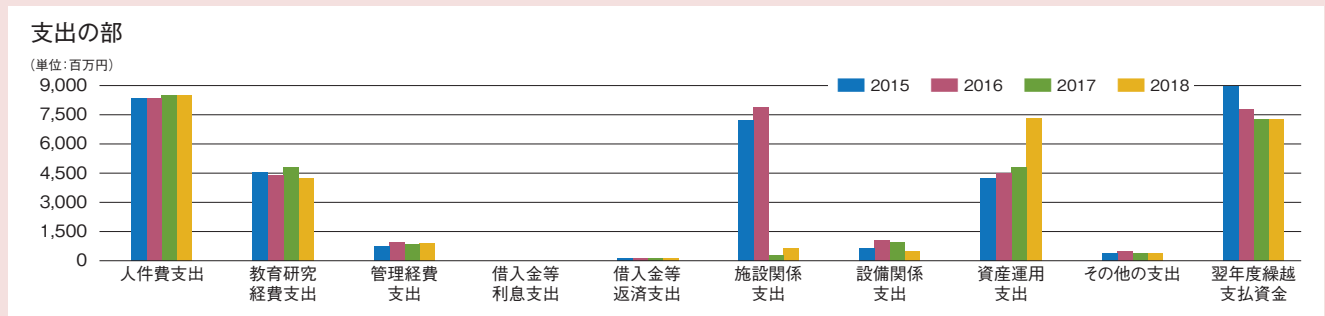
経年比較

財務計算書の推移(2015年度から2018年度までの数値は、次のとおりです。)

〈資金収支計算書〉

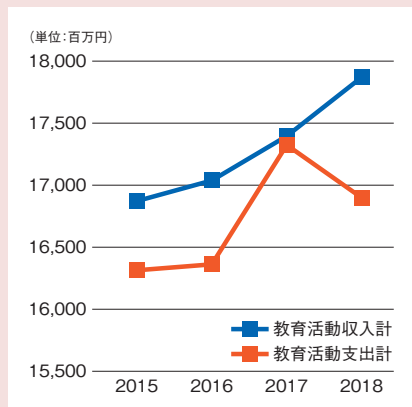


- 学生生徒等納付金収入**:授業料、入学金、実験実習費等として学則、校則等に所定の均等額を納入すべき旨が記載された納付金です。
- 手数料収入**:入学試験等のために徴収する収入、在学証明書、成績証明等の証明のために徴収する収入です。
- 寄付金収入**:金銭その他資産を寄贈者から贈与されたものです。
- 補助金収入**:国、地方公共団体、日本私立学校振興・共済事業団やこれに準ずる団体からの助成金です。●**資産売却収入**:固定資産等の売却に関わる収入です。
- 付随事業・収益事業収入**:学校法人の補助活動事業、附属事業、受託事業及び収益事業等からの収入です。
- 受取利息・配当金収入**:特定資産の運用により生ずる利息、株式の配当金等の収入です。
- 雑収入**:固定資産以外の物品の売却収入、その他学校法人に帰属する上記収入以外の収入です。●**借入金等収入**:金融機関等から借入した収入です。
- 前受金収入**:当年度に翌年度の諸活動に対応する資金を前もって受けた収入です。
- その他の収入**:前期末未収入金、預り金、貸付金回収、特定資産の取崩等の収入です。

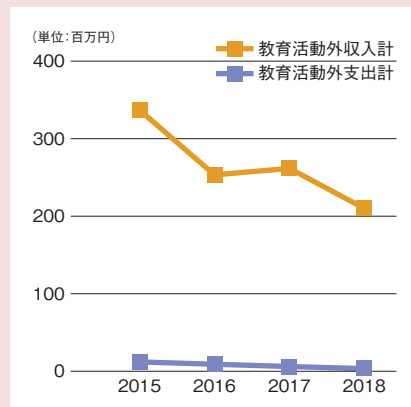


- 人件費支出**:教員及び職員人件費、役員報酬、退職金です。●**教育研究経費支出**:教育研究のために要する経費です。
- 管理経費支出**:役員、法人業務、学生生徒等募集等のために要する経費です。●**借入金等利息支出**:借入金等の利息の支払いです。
- 借入金等返済支出**:借入金等の元本返済です。●**施設関係支出**:土地、建物、構築物、建設仮勘定等です。
- 設備関係支出**:教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両、ソフトウェアに係る支出のうち資産計上されるもの等です。
- 資産運用支出**:有価証券購入、特定資産への繰入等の支出です。●**その他の支出**:前期末未払金、預り金、前払金等の支出です。
- 翌年度繰越支払資金**:当年度末の現預金残高に一致し、翌年度に繰り越される支払資金です。

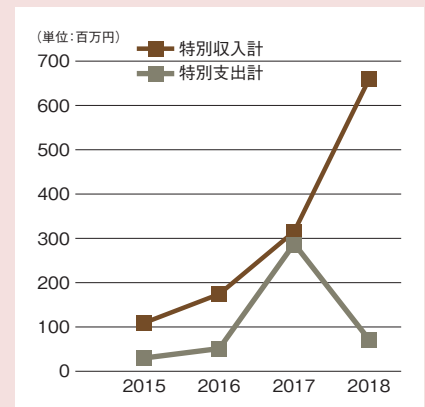
〈事業活動収支計算書〉



経常的な収支のうち、本業の教育・研究活動の収支状況を表します。

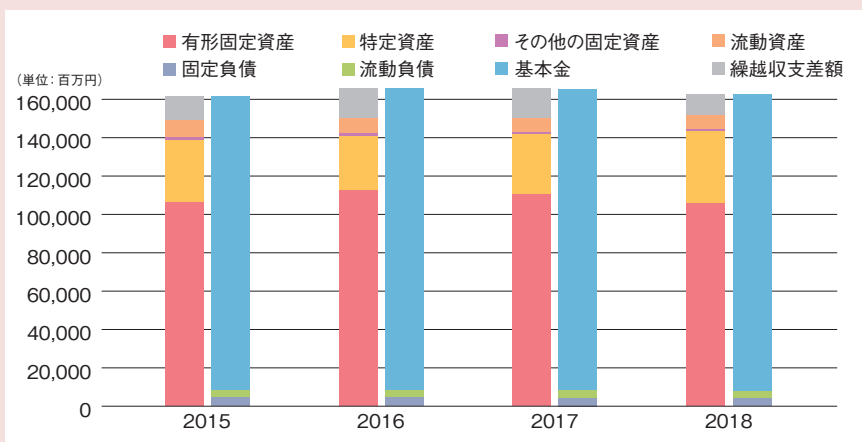


経常的な収支のうち、財務活動による収支状況を表します。



資産売却や処分等の臨時的な収支状況を表します。

〈貸借対照表〉

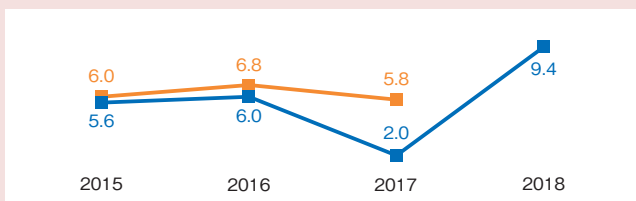


財務比率の推移 (2015年度から2018年度までの数値は、次のとおりです。)

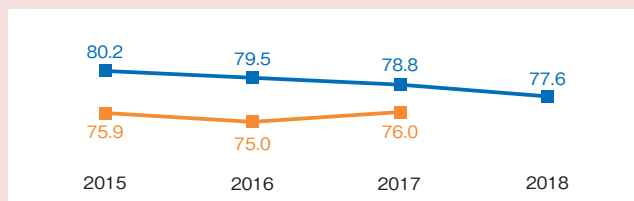
■ 理工他複数学部平均 (『今日の私学財政』より) です。 ■ 本学 (東京電機大学) の数値です。

〈事業活動収支計算書関係比率〉

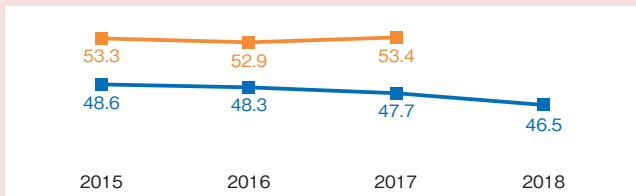
事業活動収支差額比率 (%) … 基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入 (本学はこの比率の10%超過を目指しています)



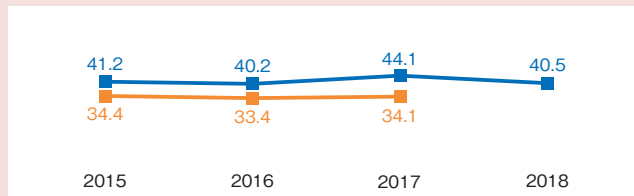
学生生徒等納付金比率 (%) … 学生生徒等納付金 ÷ 経常収入 (安定的に推移することが望ましい比率です)



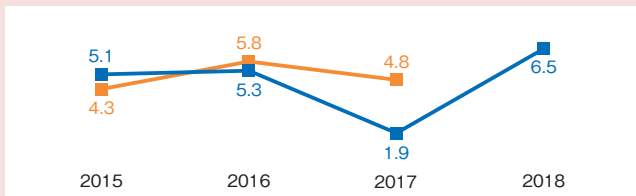
人件費比率 (%) … 人件費 ÷ 経常収入 (本学はこの比率を45%以下にすることを目指しています)



教育研究経費比率 (%) … 教育研究経費 ÷ 経常収入 (収支バランスを損ねない範囲で高くなることが望ましい比率です)

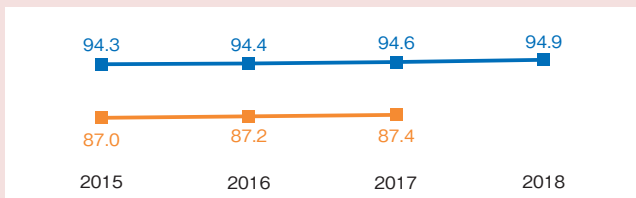


経常収支差額比率 (%) … 経常収支差額 ÷ 経常収入 (この比率は経常的な収支の安定度を示します)

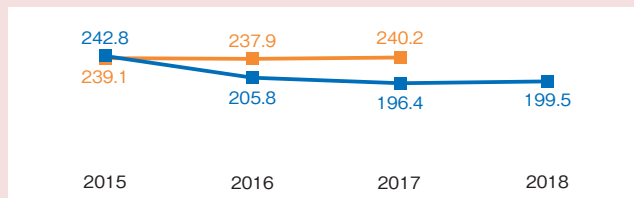


〈貸借対照表関係比率〉

純資産構成比率 (%) … 純資産 ÷ (総負債 + 純資産) (この比率は自己財源の充実度を示します)



流動比率 (%) … 流動資産 ÷ 流動負債 (この比率は短期的な支払能力を判断する指標です)



Annual Report **2019**

Information & DATA



■ 大学院各研究科の取り組み

先端科学技術研究科

- 1 研究指導体制の充実と継続的な課程博士、論文博士の輩出に努めました(2018(平成30)年度課程博士10名、論文博士7名)。また、修業年限内の学位授与促進のために、博士課程(後期)学生の国際会議参加費及び海外旅費の補助を行いました。
- 2 外国からの入学を受け入れるため、外国語(英語)で講義・研究指導を行い、博士号を取得できる課程として、2020(令和2)年度より、先端科学技術研究科全専攻にinternationalプログラムを設置することを決定しました。
- 3 社会人学生増加のために、先端科学技術研究科に在学している社会人学生及び過去3年間に博士号を取得した社会人にアンケートを実施しました。アンケートの結果をうけ、本学HPに博士課程/論文博士についてのQ&Aを掲載しました。また、産官学交流センター・校友会協力のもと、博士号取得についての案内を3回実施しました。
- 4 先端科学技術研究科への進学者を増やすことを目的としたFD*を開催しました。

*Faculty Development

工学研究科

- 1 認証評価で指摘があった研究科独自に学習成果を測定する評価指標について、学会発表実施数等を用いて、学習成果を確認することとしました。
- 2 大学院進学推進WGのもと、学部生に向けて大学院生によるポスター発表や、個別相談等を実施し、大学院進学の上を図りました。(未来科学研究科共通)
- 3 先端科学技術研究科、工学研究科、未来科学研究科の研究成果発表会を2019(平成31)年2月8日に合同開催しました。発表会は、学部生、学外者及び卒業生にも公開され、学部生を含め、計481名が参加しました。

未来科学研究科

- 1 「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」に選定された「国際化サイバーセキュリティ学特別コース(CySec)」を引き続き履修証明プログラム(厚生労働省「専門実践教育訓練給付指定講座」として運用し、2018(平成30)年度は、24名が修了しました。
- 2 継続して実施している、「技術英語」「企業研究能力と自己PR力」などのエクステンションプログラムを実施しました。
- 3 大学院進学率向上につながるFDを実施し、各専攻において大学院進学率向上に向けた取り組みを検討しました。(全研究科共通)

理工学研究科

- 1 理工学研究科及び専攻毎に行うガイダンス、就職行事として行う就職ガイダンスなど、学部学生に対する理工学研究科の紹介を実施し、大学院への進学率向上に努めました。
- 2 理工学研究科学内推薦入試(A日程)に合格した学部4年次の17名を本学協定校の中原大学(台湾)に7月の約3週間派遣し、海外研修を実施しました(2019(令和元)年度実施も決定)。また、事前準備として理工学研究科共通科目「科学英語」を先取り履修させることや「国際化プロジェクト」を2018(平成30)年度に開講し、海外研修後の単位認定を実施しました。
- 3 埼玉県と県内にキャンパスを構える20大学が協力して、授業科目の一部を県内在住の55歳以上の方を対象にしたリカレント教育を実施するとともに、理工学研究科の授業科目の一部を一般に開放した「公開科目」を実施しました。

情報環境学研究科

- 1 修士論文・研究成果報告の公聴会・審査会を継続実施しました。
- 2 研究指導体制充実のため、副査の学生に対する研究指導面談と面談報告書の提出及び専攻内での公開を継続実施しました。また、主査による研究指導計画書の提出及び専攻内での公開を継続実施しました。
- 3 学生の研究意欲向上のため、本研究科主催の「アイデアコンテスト」を継続実施しました。また、学術貢献賞の授与などを継続して実施しました。

大学院専攻一覧

先端科学技術研究科 博士課程(後期): 数理学専攻 電気電子システム工学専攻 情報通信メディア工学専攻 機械システム工学専攻 建築・建設環境工学専攻 物質生命工学専攻 先端技術創成専攻 情報学専攻

工学研究科 修士課程: 電気電子工学専攻/電気電子システムコース 電気電子工学専攻/電子光情報コース 物質工学専攻 機械工学専攻/機械工学コース 機械工学専攻/先端機械コース 情報通信工学専攻

未来科学研究科 修士課程: 建築学専攻 情報メディア学専攻 ロボット・メカトロニクス学専攻

理工学研究科 修士課程: 理学専攻 生命理工学専攻 情報学専攻 電子・機械工学専攻 建築・都市環境学専攻

情報環境学研究科 修士課程: 情報環境学専攻

■ 各学部の取り組み

工学部

- 1 3つのポリシーに加え、学部・学科・授業科目ごとに成績評価の基準を明確にし、アセスメントポリシーを策定しました。(全学部共通)
- 2 全学的な初年次教育科目の検討委員会を教育改善推進室が中心となって発足させ、検討を行いました。(全学部共通)
- 3 工学部が主体となり、新たな入試広報の一つとして、全学生を対象とした動画コンテストを開催しました。

工学部第二部

- 1 2018(平成30)年度より「社会人課程(実践知重点課程)」を開設し、同課程の「実践知プログラム」が「2018(平成30)年度 文部科学省職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました。併せて厚生労働省「一般教育訓練給付指定講座」となりました。
- 2 優れた成績で単位修得した学生に対して、GPA等に基づく履修上限を緩和する制度を決定しました。

未来科学部

- 1 文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」(アクティブ・ラーニングと学修成果の可視化の複合テーマ)事業における反転授業等の実施ならびに文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)」におけるセキュリティ分野の重点拠点として情報セキュリティに特化した専門的な講義等を継続して実施しました。
- 2 IDCロボットコンテスト(於 東京工業大学)を昨年度に引き続き、ロボット・メカトロニクス学科教員が中心となり、推進しました。
- 3 「プロの能力、豊かな教養」を育む教育の一環で、海外で活躍する著名な専門家を招き、各分野の最新技術や研究動向を紹介しています。2018(平成30)年度は、建築学科、ロボット・メカトロニクス学科で開催しました。

システムデザイン工学部

- 1 学部を開設して2年が経過し、教育・研究・学生指導ともに、充実を図ってきました。
- 2 積極的な募集活動により、入学試験も当初目標のとおり学生を迎えることができました。

理工学部

- 1 2018(平成30)年4月に学部改編を行い、6学系16コースの学系構成をスタートしました。また、学系間や大学院と連携する新たな縦横連携プログラムとしてオナーズプログラム(次世代技術者育成プログラム)の詳細を策定しました。
- 2 3号館の教室の一部を改修し、アクティブラーニング授業に対応した教室を整備しました。
- 3 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)を設立し、近隣の大学や行政との連携が一層活発化しました。

情報環境学部

- 1 2018(平成30)年4月より東京千住キャンパスへ移転し、50分週複数回、開講授業を実施しました。また卒業要件単位の早期修得を促進する観点から、基礎科目の集中講義を複数実施しました。
- 2 卒業要件単位の早期修得を促進する観点から、成績不良者へのよりきめ細かい対応を行いました。
- 3 2017(平成29)年度開設のシステムデザイン工学部の教員が情報環境学部を兼務することにもなう2019(令和元)年度の情報環境学部の教育システムの調整を行いました。



■ 教育研究機関との連携

■ 他大学との連携

本学、芝浦工業大学、東京都市大学、工学院大学で構成する東京理工系4大学では、各大学で開講する学部及び大学院修士課程の授業を履修できる「単位互換制度」、いずれの大学院にも特別推薦により進学できる特別推薦入試制度などの連携を行っています。

他にも、首都大学院コンソーシアム、彩の国大学コンソーシアム、日本医科大学との連携、山形大学工学部、日本工業大学、公立はこだて未来大学、東京医科歯科大学等との学術連携協力のほか、足立区6大学(本学、放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、文教大学)で連携し、定期的に学長会議を実施しています。さらに、主に埼玉県東上地域に所在する18大学・短期大学、関連する自治体、企業等が連携する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」を2018(平成30)年8月に発足し、本学が代表校を務め、連携を推進しています。

また本学は、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)」の第2期(学部生向け)セキュリティ分野において、東北大学をはじめとする14の大学のうちの1大学として採択されています。14大学が連携して「Basic SecCap」というコースを共同運営し、情報セキュリティ分野における実践的人材を育成しています。

■ 研究機関との連携(連携大学院方式)

学外の研究機関と連携して、大学院生の研究指導を行う「連携大学院方式」を導入し、研究領域の多様化と研究内容の拡大を図り、大学院教育の活性化を目指しています。最新の設備と機器を備えた研究機関において、また客員教授として迎えた連携先研究者のもとで、研究指導を受けることができます。連携先及び客員教員は今後も拡大を図る予定です。

《連携研究機関》

国立研究開発法人 理化学研究所／国立研究開発法人 産業技術総合研究所／一般財団法人 電力中央研究所／国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構／国立研究開発法人 海上技術安全研究所／国立研究開発法人 物質・材料研究機構／国立研究開発法人 情報通信研究機構／NHK放送技術研究所／独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所／日本電信電話株式会社(NTT物性科学基礎研究所)

■ 海外協定校及び交流のある海外大学(17の国と地域から34大学・1研究機関)

イギリス	ケンブリッジ大学ホマーントンカレッジ
アメリカ	コースタルカロライナ大学、コロラド大学ボルダー校、パデュー大学、マーシャル大学、フェアモント州立大学、アーカンソーテック大学、ハワイ大学ヒロ校、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
カナダ	ビクトリア大学
オーストラリア	シドニー大学
韓国	大邱大学校、ソウル科学技術大学校、全北大学校
中国	大連理工大学、同濟大学、北京科技大学、新疆大学、深圳技術大学
台湾	中原大学
ドイツ	イルメナウ工科大学
フランス	フランス国立高等精密機械工学大学院大学(ENSMM)
フィンランド	ラップランド応用科学大学
エストニア	タリン工科大学
インド	チャンディーガル大学、インド理科大学
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学、FPT大学
インドネシア	ヌサンタラ・マルチメディア大学
マレーシア	マラ工科大学、マレーシア工科大学
タイ	泰日工業大学、シンクロトン光研究所、モンクット王工科大学トンブリー校
ブルネイ・ダムサラーム	ブルネイ工科大学



■ 教育の取り組みの成果

学生の受賞・表彰

学会やコンクールでの発表などで、大学院生や学部生が様々な受賞や表彰を受けています。

博士 個人

伊藤 佳卓 (先端研 博士3年)

The 2018 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications「Student Paper Award」

修士 個人

齋藤 健人 (工研 修士2年)

日本材料学会 第4回材料WEEK 若手学生研究発表会「優秀講演賞(ベストプレゼンテーション賞)」

井戸 航洋 (工研 修士2年)

European Winter Conference on Plasma Spectrochemistry2019「The Royal Society of Chemistry Journal of Analytical Atomic Spectrometry Poster Prize at EWCP2019 (RSC JAAS Poster Prize at EWCP2019)」
プラズマ分光分析研究会 筑波セミナー2018「プラズマ分光分析研究会 会長特別賞」

菊地 匠 (工研 修士2年)

The Seventh International Symposium of Aero-Aqua Biomechanisms ISABMEC2018「Student Award」

小室 佳生 (工研 修士2年)

2018年度自動車技術会関東支部学術講演会「ベスト・プレゼンテーション賞」

清水 宣宏 (工研 修士2年)

実践教育訓練研究協会「平成30年度 優秀実践技術者賞(学生の部)」

田中 紘世 (工研 修士2年)

The 5th International Conference on Computational Science/Intelligence & Applied Informatics「Best Student Paper Award」

The 5th International Conference on Computational Science/Intelligence & Applied Informatics「Outstanding paper」

情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会「CSS 2018 奨励賞」

西牧 駿 (工研 修士1年)

平成30年電気学会電子・情報・システム部門大会「Outstanding Student Presentation Award」

松永 拳 (工研 修士1年)

電子情報通信学会 東京支部学生会「研究発表会」「東京支部学生奨励賞」

永田 祐希 (工研 修士1年)

日本化学会 平成30年度化学系学協会 東北大会「優秀ポスター賞」

岩元 正紀 (工研 修士1年)

日本材料科学会 平成30年度学術講演大会「若手奨励賞(ポスター発表部門)」

松山 広喜 (工研 修士1年)

24th International Conference on Electrical Engineering (ICEE 2018)「Best Oral Presentation Award」

日俣 幸彦 (工研 修士1年)

第36回 電気設備学会全国大会「発表奨励賞」

柳沼 ひかる (理工研 修士2年)

日本生体医工学学会 生体医工学シンポジウム「ベストリサーチアワード」

ライフサポート学会「奨励賞」

川島 圭太郎 (理工研 修士2年)

ライフサポート学会「奨励賞」

莊 敬介 (理工研 修士2年)

ライフサポート学会「奨励賞」

山田 拓実 (理工研 修士2年)

ライフサポート学会「奨励賞」

潮田 裕也 (理工研 修士2年)

電気学会東京支部埼玉支所 第22回研究発表会「優秀論文発表賞」

金井 勇介 (理工研 修士2年)

公益社団法人 地盤工学会 第53回地盤工学研究発表会「優秀論文発表者賞」

原 千明 (理工研 修士2年)

第15回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2018「優秀発表者賞」

林 公洋 (理工研 修士2年)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会

「SI2018 優秀講演賞」

鈴木 将典 (理工研 修士1年)

第2回 日本建築学会グローバル化人材育成プログラム「世界で建築をつくるぞーグローバルな建築デザイン・マネジメント・エンジニアリング分野への入門」「プレゼンテーション 小栗新 賞」「プレゼンテーション 西口正人 賞」

柳沼 啓斗 (未研 修士2年)

日本建築学会 第13回コロキウム構造形態の解析と創生2018「形態創生コンテスト2018 入選」

栗原 修平 (未研 修士2年)

ライフサポート学会「奨励賞」

早川 拓郎 (未研 修士2年)

DICOMO2018「ヤングリサーチアワード」

沼田 彩子 (未研 修士2年)

The 18th International Conference on Computational Science and its Applications「Best Paper Award」

飯岡 俊光 (未研 修士2年)

17th Asia-Pacific Conference on Fundamental Problems of Opto- and Microelectronics「Best Poster Paper Award」

青木 駿弥 (未研 修士2年)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会

「SI2018 優秀講演賞」

石戸 健太 (未研 修士1年)

第13回日本感性工学会春季大会「優秀発表賞」

河村 天暉 (未研 修士1年)

第17回情報科学技術フォーラム「FIT奨励賞」

青井 雄亮 (未研 修士1年)

UBICOMM 2018「Best Paper Award」

鈴木 颯太 (情環研 修士2年)

人間・環境学会(MERA)第25回大会「優秀発表賞」

小野寺 睦 (情環研 修士2年)

MIKA2018「ポスター賞 若手最優秀部門」

近藤 俊暢 (情環研 修士1年)

第20回シェルターインターナショナル学生設計競技2018「奨励賞」

小安 宗徳 (情環研 修士1年)

2018日本感性工学会かわい感性デザイン賞「奨励賞」

学部 個人

釜谷 尚宏 (システムデザイン 2年)

Opened Media Entertain Circles夏のモニター会「CM賞」

右近 良平 (システムデザイン 2年)

東京国際プロジェクトマッピングアワード Vol.3「審査員特別賞」

秋元 雄太 (工 4年)

電気学会東京支部主催 第9回学生研究発表会「優秀発表賞」

栗山 拓也 (工 4年)

電気学会東京支部主催 第9回学生研究発表会「優秀発表賞」

並木 敬太郎 (工 4年)

電気学会東京支部主催 第9回学生研究発表会「優秀発表賞」

横田 航也 (工 4年)

第17回 IBB BioFuture Research Encouragement Prize 研究発表会「優秀賞」

内田 啓太 (工 4年)

WordPress用プラグインSite Reviewsの格納型クロスサイトスクリプティング脆弱性を発見「脆弱性番号:CVE-2018-0603, JVN#60978548」

北岡 佑太 (工 4年)

WordPress用プラグインEvent Calendar WDの格納型クロスサイトスクリプティング脆弱性を発見「脆弱性番号:CVE-2018-16164, JVN#75738023」

末吉 大輝 (工 4年)

WordPress用プラグインLearnPressの複数の脆弱性(反射型クロスサイトスクリプティング、オープンリダイレクト、SQL インジェクション)を発見「脆弱性番号:CVE-2018-16173,CVE-2018-16174,CVE-2018-16175,JVN#85760090」

齋藤 真幸 (工 4年)

FormCraftとSmart Formsの脆弱性を発見「FormCraft脆弱性CVE-2019-JVN#83501605 Smart Forms脆弱性CVE-2019-5924,JVN#97656108」

下山 雪 (工 4年)

電気学会 東京支部「電気学術女性活動奨励賞」

武川 純也 (工 3年)

第6回 2018はんだ付けアートコンテスト「優勝」

清水 純平(理工 4年)

日本食品科学工学会 第65回大会「第14回若手の回 ポスター発表企業賞」

安西 優貴(理工 4年)

「電気学会東京支部 電気学術奨励賞」

NUREEN AQILAH(理工 4年)

「電気学会東京支部 電気学術女性活動奨励賞」

中里 紀之(理工 4年)

電気学会東京支部埼玉支所 第22回研究発表会「優秀論文発表賞」

清水 達也(理工 4年)

日本写真測量学会 学術講演会「論文賞」

西嶋 千笑(未来 4年)

第14回日本感性工学学会春季大会「優秀発表賞」

蟻田 怜勇(未来 4年)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会「SI2018 優秀講演賞」

矢野 恵司(未来 4年)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会「SI2018 優秀講演賞」

古庄 こころ(工二 4年)

実践教育訓練研究協会「平成30年度 優秀実践技術者賞(学生の部)」

花井 俊孝(情環 4年)

DICOMO2018「優秀プレゼンテーション賞」

篠原 峻輝(情環 4年)

電子情報通信学会 東京支部学生会「研究発表会」「東京支部学生奨励賞」

佐藤 晃佑(情環 4年)

HAシンポジウム2018「Outstanding Research Award 優秀論文賞」

渡邊 優(情環 4年)

情報処理学会 第81回全国大会「学生奨励賞」

匂持 遼太郎(情環 3年)

電子情報通信学会 東京支部学生会「研究発表会」「東京支部学生奨励賞」

グループ

古川 亮、笠原 真紀、柳沼 啓斗(未研 修士2年)

第3回「まちを楽しくするストリートファニチャーデザインコンペティション」「優秀賞」

原 寛貴、駒澤 直登(未研 修士1年)

学生を対象としたバイオマス発電用ペレット収蔵施設外装デザインアイデアコンテスト「最優秀賞」

原 寛貴、駒澤 直登、木之内 諒、松田 健吾(未研 修士1年)

ヒューリック学生アイデアコンペ「佳作」

湯淺 亮太、橋本 章宏、関口 貴大、黒沢 桃子、石田 佳雅実(理工 2年)

第15回ACジャパン広告学生賞テレビCM部門「奨励賞」

池田 開(未来 4年)、**川原田 健人**(未来 3年)

日本建築学会 第13回コロキウム構造形態の解析と創生2018「形態創生コンテスト2018 入選」

ソウ キン(未来 4年)、**伊藤 千紘**(情環 3年)

Sussex-Huawei Locomotion Challenge「3位入賞」

齊藤 歩、篠原 峻輝、柳澤 宏伎(情環 4年)

公益財団法人 防衛基盤整備協会「情報セキュリティに関する懸賞論文」「優秀賞」

安藤 申将(情環 4年)、**伊藤 千紘、鏡川 悠介、皆川 哲範**(情環 3年)

第22回 PRMUアルゴリズムコンテスト「最優秀賞」

若林 孝典、並木 敬太郎(工 4年)

電気学会東京支部「電気学術奨励賞」

金子 仁、佐藤 泰彦、金田 啓太郎、中川 雄大、村上 賢太郎、小谷 宙、川越 健太、山門 拓己、ソウ キン、中村 正太郎、藤原 翔(未来 4年)

第2回 HAKKO熱の実験コンテスト「金賞」

西垣 一馬、河西 達彦(情環 3年)

Sigfoxで生活を楽しくするIoTアイデアコンテスト「プロトタイプ部門 優秀賞」

卒業生・研究生 他

(敬称略)

磯本 剛(2018 工研修了)

電子情報通信学会回路とシステム研究会「学生優秀賞」

田中 秀雄(1971 工卒)

「PLASTICS HALL OF FAME」殿堂入り

彦坂 宗之介(2018 未研修了)

電気学会 平成29年 電子・情報・システム部門「知能情報研究会」「研究会奨励賞」

松高 直輝(2018 未研修了)

デジタル・フォレンジック研究会「優秀若手研究者表彰 優秀賞」

久保 駿介、杉本 大輔(2018 未研修了)

日本セキュリティ・マネジメント学会「2017年度論文賞」

高木 大地(2018 未研修了)

NetWebLogic社のWordPress用プラグインEvents Managerの格納型のクロスサイトスクリプティング脆弱性を発見「脆弱性番号:CVE-2018-0576,JVN#85531148」

※所属・学年は受賞当時。

※先端研=先端科学技術研究科、工研=工学研究科、理工研=理工学研究科、情環研=情報環境学研究科、未研=未来科学研究科、工=工学部、理工=理工学部、情環=情報環境学部、未来=未来科学部、シエ=システムデザイン工学部、工二=工学部第二部(夜間)

■ 研究の取り組みの成果

教員等の受賞・表彰 (2018年度受賞、所属・職位は受賞時) 現教員以外の受章・受賞・表彰も合わせて報告します。

叙勲等受章

笠原 宏 (本学名誉教授) 瑞宝小綬章(秋)

学長、教員等

射場本 忠彦 常務理事(元未来科学部建築学科教授)

・ 空気調和・衛生工学会「第56回学会賞論文賞」

安田 進 教授(レジリエントスマートシティ研究所)

・ 平成30年度科学技術分野文部科学大臣表彰「科学技術賞 理解増進部門」

金田 豊 教授(工学部情報通信工学科)

・ 一般社団法人日本音響学会「第41回功績賞」

本橋 光也 教授(工学部情報通信工学科)、鈴木 俊明 研究員(日本電子株式会社)、

吉野 隆幸 准教授(工学部情報通信工学科)、丹羽 雅昭 講師(工学部自然科学系列)

・ 日本材料科学会 平成30年度学術講演大会「論文賞」

穴戸 真 教授(英語系列)

・ EdMedia 2018「OUTSTANDING PAPER AWARD」

土肥 紳一 教授(システムデザイン工学部)

・ 情報処理学会 情報教育シンポジウム SSS2018「最優秀発表賞」

宮保 憲治 教授、小川 猛志 教授(システムデザイン工学部 情報システム工学科)、

柿崎 淑郎 准教授(研究推進社会連携センター)、山田 あすか 准教授(未来科学部建築学科)

・ 「関東工学教育協会賞(業績賞)」

齊藤 泰一 教授(工学部情報通信工学科)

・ The 5th International Conference on Computational Science/ Intelligence & Applied Informatics「Outstanding paper」

前田 英作 教授、酒造 正樹 プロジェクト研究准教授(システムデザイン工学部情報システム工学科)

・ Sussex-Huawei Locomotion Challenge「3位入賞」

土肥 紳一 教授(システムデザイン工学部デザイン工学科)、今野 紀子 教授(システムデザイン工学部人間科学系列)

・ 第17回情報科学技術フォーラム「FIT奨励賞」

宮保 憲治 教授、鈴木 秀一 教授、上野 洋一郎 教授(システムデザイン工学部情報システム工学科)

・ 公益財団法人 防衛基盤整備協会 情報セキュリティに関する懸賞論文「優秀賞」

武川 直樹 教授(システムデザイン工学部デザイン工学科)、

徳永 弘子 プロジェクト研究准教授

・ 電子情報通信学会HCGシンポジウム2018 インタラクティブセッション「最優秀インタラクティブ発表賞」

百田 真史 准教授(未来科学部建築学科)

・ 空気調和・衛生工学会「第56回学会賞論文賞」「第15回功績賞表彰」

山田 あすか 准教授(未来科学部建築学科)

・ 日本建築学会「2018年日本建築学会賞(論文)」

日野 雅司 准教授(未来科学部建築学科)

・ 日事連建築賞「優秀賞」

石川 敬祐 准教授(理工学部建築・都市環境学系)

・ 平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会「優秀講演者」

能作 文徳 准教授(未来科学部建築学科)

・ ISAlA 2018「Excellent Research Award」

佐々木 良一 特命教授(総合研究所)

・ Information Security Leadership Achievements Asia-Pacific program 「The 2018 Showcased Honoree for Information Security Educator」

島田 政信 教授(建築・都市環境学系)

・ IEEE IGARSS 2018, International Geoscience and Remote Sensing 2018「The distinguished Achievement Award」

土井根 礼音 助教(総合研究所)

・ 「日本航海学会奨励賞」

・ ISAlA 2018「Excellent Research Award」

石原 美彦 助教(未来科学部人間科学系列)

・ 第31回日本トレーニング科学学会大会「トレーニング科学研究賞奨励賞」

井尻 政孝 助教(工学部先端機械工学科)

・ 日本機械学会中国四国支部「技術創造賞」

山田 泰之 助教(システムデザイン工学部デザイン工学科)

・ 第19回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会「SI2018 優秀講演賞」

中島 浩貴 講師(理工学部共通教育群)

・ 第2回 academist PRIZ「最優秀賞」

東京電機大学(国際センター)

2018年日本留学AWARDS 東日本地区大学(理工系)部門 入賞校

東京電機大学(入試センター)

第33回 全日本DM大賞「金賞」

文部科学省、日本学術振興会 科学研究費補助金の採択状況(件)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新学術領域	0	0	0	1	2
基盤研究A	1	0	0	0	0
基盤研究B	5	5	6	8	6
基盤研究C	60	65	68	66	67
萌芽研究	7	9	11	10	6
若手研究A	1	1	1	1	1
若手研究B	18	18	18	24	18
特別研究員奨励費	2	3	2	0	0
学術図書	0	0	0	0	0
研究活動スタート支援	5	4	2	0	0
計	99	105	108	110	100

上記以外の公的補助金・助成金 の採択状況

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
特定領域研究等(件)	6	12	11	7	2

受託研究の受け入れ状況 (継続を含む入金額)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件数(件)	52	56	59	74	72
受入額(円)	137,278,342	187,278,959	283,492,930	260,554,650	286,672,965

共同研究の状況 (継続を含む)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件数(件)	74	88	102	110	111
受入額(円)	55,599,565	87,477,342	80,857,979	102,798,911	84,791,094

特許申請(保有件数)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
出願件数(件)	25	20	29	30	20
特許取得件数(件)	8	10	16	10	12

研究奨励寄付金の受け入れ状況 (継続を含む)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件数(件)	73	83	73	83	89
受入契約額(円)	104,388,782	127,844,280	111,185,716	82,113,932	88,971,377

就職実績

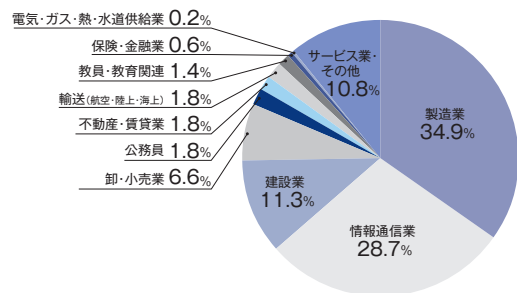
● 就職内定率

99.1%

1,596名希望 1,581名決定 2019年3月卒業生実績

2019年3月卒業、修了生の就職内定実績。民間企業への就職希望者1,596名に対して、1,581名が内定を獲得しました。

● 産業別就職割合



● 求人社数

15,590社 (前年比4.9%増)

本学の学生一人あたりの求人数は約9社。(全国平均は1.83社:リクルートワークス研究所調べ)

● 希望企業への内定獲得率

93.8%

2019年3月卒業生アンケートで就職内定先企業が、希望順位の第3位までの割合。第1位と回答した学生も63%のほりです。

● 就職先企業の満足度

97.3%

2019年3月卒業生アンケートで就職内定先企業を「大変満足」「満足」と答えた学生の割合。

● 学内企業説明会参加企業数 (2018年3月~2019年3月に開催)

563社

就職活動の時期に電大生のために会社説明会を開催する企業数。

● 卒業生による仕事研究セミナー参加企業数 [キャリア教育行事] (2019年2月10日開催実績)

257社

卒業生が活躍する企業257社が1日に集まり、卒業生が親身になって相談のつてくれます。

● キャリア支援・就職支援講座 (2018年度)

163回

学部1年生から参加できる講座など、2キャンパスで毎週1つ以上の講座を開講しています。

● 過去5年間の主な内定企業実績一覧 (2015年3月~2019年3月卒業生実績)

三菱電機	77	関電工	28		
東日本旅客鉄道	54	富士電機	28		
日本電気(NEC)	40	大和ハウス工業	27		
凸版印刷	36	スズキ	26		
大成建設	30	富士通	25		
トヨタ自動車	22	アルプスアルパイン	19	インターネットイニシアティブ	16
ミネベアミツミ	22	東海旅客鉄道(JR東海)	19	SUBARU	14
沖電気工業	21	アズビル	19	荏原製作所	11
本田技研工業	21	キャノンメディカルシステムズ	18	積水ハウス	11
NECソリューションイノベータ	20	東京電力	17	大日本印刷	11
日立製作所	20	エヌ・ティ・ティ・データ	17	ヤフー	11

IHI、アルファシステムズ、いすゞ自動車、SMC、SCSK、NECプラットフォームズ、NTTアドバンステクノロジー、NTTテクノクロス、大林組、オカムラ、オリンパス、鹿島建設、カプコン、キヤノン、京三製作所、京セラ、共同印刷、グローリー、ケービン、小糸製作所、サンケン電気、敷島製パン、清水建設、ジャステック、ジヤトコ、セイコーエプソン、セガゲームス、ソディック、高砂熱学工業、竹中工務店、TDK、TDCソフト、DTS、東急コミュニティー、東京エレクトロン、東京ガス、東京急行電鉄、東京精密、東京電力ホールディングス、日産自動車、日鉄テックスエンジ、日本光電工業、日本コムシス、日本システムウエア、日本信号、日本精工、日本電産、日本発条(ニッパツ)、日本無線、東日本電信電話、日立オートモティブシステムズ、日野自動車、フクダ電子、不二越、富士通ゼネラル、不二テックス、ボッシュ、前田建設工業、マクニカ、マブチモーター、三井情報、ミツトヨ、三菱ケミカル、明電舎、メタウオーター、森ビル

● 主要内定実績企業一覧 (2019年3月卒業生実績)

三菱電機	12	大和ハウス工業	7		
東日本旅客鉄道	11	アルプスアルパイン	6		
凸版印刷	11	ケービン	6		
富士通	8	NTTテクノクロス	6		
本田技研工業	8	ミネベアミツミ	6		
東急建設	5	沖電気工業	5	キヤノン	4
大林組	5	大日本印刷	5	キャノンメディカルシステムズ	4
東海旅客鉄道	5	日立オートモティブシステムズ	4	東京電力ホールディングス	4
アズビル	5	マクニカ	4	大成建設	4
ヤフー	5	日本電産	4	関電工	4
オリンパス	5	いすゞ自動車	4	富士通ゼネラル	4

旭化成、アドバンテスト、アルファシステムズ、インターネットイニシアティブ、宇宙興産、NTN、NTTコミュニケーションズ、エヌ・ティ・ティ・データ、NTTドコモ、NTTファシリティーズ、荏原製作所、オカムラ、鹿島建設、京三製作所、京セラ、共同印刷、協和エクシオ、グローリー、小糸製作所、コクヨ、小松製作所、コムチュア、GSユアサ、システナ、清水建設、シャープ、信越化学工業、スクウェア・エニックス、スズキ、積水ハウス、高砂熱学工業、竹中工務店、TDK、DTS、デンソー、東急コミュニティー、東京急行電鉄、東京精密、東京地下鉄(東京メトロ)、東芝、トプコン、トヨタ自動車、ニチアス、日産自動車、日清紡ホールディングス、日本ケミコン、日本コムシス、日本信号、日本精工、日本電気(NEC)、日本無線、東日本高速道路、日立システムズ、日立製作所、日野自動車、フジクラ、不二越、富士電機、ボッシュ、マブチモーター、ミツトヨ、三菱ケミカル、三菱自動車工業、明電舎、ヤクルト本社、安川電機、ヤマザキマザック、ヤマハ、ヤマハ発動機、ヤンマー、横浜ゴム、ローム、ローランド

● 電機会 (2019年3月現在)

卒業生が企業等で作っている支援組織

1 就職校友会	1,294	6 錦央電機会	182	11 明電舎電機会	102	16 日本電波工業電機会	48
2 東京電機大学技術士会	382	7 沖電気電機会	173	12 京三電機会	78	17 アズビル電機会	43
3 民間放送校友会	292	8 東管支部	159	13 竹中電機会	57	18 東光電気工事電機会	42
4 三菱電機会	278	9 鹿島建設電機会	120	14 長谷工電機会	57	19 東管神奈川電機会	38
5 関電工電機会	192	10 大成建設電機会	107	15 商工懇話会	57	19 特許電機会	38

※他に多くの電機会があります。

■ 卒業生の活躍

■ 卒業生が現役トップの上場企業（社長・会長クラス）

上場企業の代表権のあるトップは12名(全国37位)、役員は63名(全国60位)。

会社名	資本金	従業員(人)	事業内容
アンリツ(株)	190億円	3,699	通信系計測器の大手企業。携帯電話や基地局に強い。異物検出機なども展開。海外でも高シェア。
(株)ETSホールディングス	9.89億円	145	送電線・内線工事が主体だが、通信向けも育成。電力は東北電力が主要発電先。建物管理事業も。
亀田製菓(株)	19億円	3,428	菓子の製造販売。国内米菓市場の約30%を占める。米国、中国など世界に米菓を広げている。
(株)関電工	102億円	9,665	電気・通信・空調・プラントなど電力の安定供給を守る、幅広い分野の設備工事を展開する総合設備企業。
(株)コーエーテックモホールディングス	150億円	1,737	ゲームソフト中堅のコーエーテックモが09年経営統合、様々なゲーム等を提供。オンラインゲームを含め海外展開強化へ。
(株)駒井ハルテック	66億円	552	鉄骨・橋梁の大手。東京スカイツリーや東京湾アクアライン、超高層ビルなどに実績。
(株)システム情報	3.02億円	554	独立系。高取得率の国際PMPとCMMIレベル5をベースのプロジェクト管理力に強み。
システムズ・デザイン(株)	3.33億円	560	SIとデータ入力、会計ソフトのプレス発送が柱。独立系会計ソフトのPCA創業者が筆頭株主。
シンデン・ハイテックス(株)	14億円	136	液晶や半導体などの電子部品販売を主軸とする専門商社。サプライチェーン・マネジメントが強み。
(株)セコニックホールディングス	16億円	463	露出計ブランドとして有名。事務機器や露出計、監視カメラなど、海外にも子会社展開。
(株)大気社	64億円	4,834	空調工事業界大手。自動車塗装設備工事で国内首位、世界で2位。東南アジアなど海外展開も。
帝国通信工業(株)	34億円	1,894	可変抵抗器の老舗だがデジタル家電向けの前面操作ブロックが収益柱。アジア市場を開拓中。
テクノライゾン・ホールディングス(株)	25億円	865	タイテックと買収したエルモ社の共同持株会社。電子・光学機器の2本柱、書画カメラが看板。
(株)ドウシシャ	49億円	1,634	ブランド品等を量販店中心に卸売り、PB商品開発も積極推進、小売り支援等サービスも。
東洋電機(株)	10億円	478	電子制御・配電機器メーカー。エレベーター用センサーでは首位級。耐雷変圧器も強み。
(株)トプコン	166億円	4,723	測量やGPS関連が軸。眼底カメラなど眼科用機器は世界有数。
富士ソフト(株)	262億円	13,346	独立系大手ソフト開発。家電や自動車向けの組み込み系ソフトに強み。
不二ラテックス(株)	6.43億円	301	ゴム製品及び産業機械向け緩衝器等の製造・販売。
(株)マイスターエンジニアリング	9.81億円	1,840	半導体製造装置などメカトロメントからビル等の施設メンテと管理に軸足。環境分野を開拓。
マクニカ・富士エレホールディングス(株)	138億円	3,114	技術力を誇る半導体商社。主取引先は大手電機メーカーで通信設備向けICに強み。

■ 卒業生が役員を務めている上場企業

(株)アイ・オー・データ機器(株)アドバンテスト/アンリツ(株)ETSホールディングス/NKKスイッチズ(株)オーネックス/カシオ計算機(株)亀田製菓(株)川崎設備工業(株)関電工(株)コーエーテックモホールディングス(株)駒井ハルテック/三協フロンティア(株)GA technologies(株)システム情報/システムズ・デザイン(株)新光商事(株)シンデン・ハイテックス(株)スタンレー電気(株)住友電設(株)セコニックホールディングス(株)大気社(株)高見沢サイバネティックス(株)タチエス(株)チノー(株)DTS/帝国通信工業(株)テクノライゾン・ホールディングス(株)電気興業(株)東京エネクス(株)ドウシシャ/東洋電機(株)トプコン/ナガイレーベン(株)西川計測(株)日本金属(株)日本精機(株)能美防災(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ/ピー・シー・イー(株)福島銀行/富士ソフト(株)不二ラテックス(株)古林紙工(株)豊和工業(株)ホーチキ(株)マースエンジニアリング(株)マイスターエンジニアリング/マクニカ・富士エレホールディングス(株)マブチモーター(株)ミサワホーム(株)ミサワホーム中国(株)三井金属エンジニアリング(株)油研工業(株)理研計器(株)リョービ(株)レントラックス/ワイエイシイホールディングス(株)

出典:『東洋経済別冊 役員四季報2019年度版』

■ 卒業生の叙勲等受章者（2018(平成30)年）

「瑞宝小綬章(春)」 佐藤 芳美 殿 元 航空自衛隊特別航空輸送隊副司令
 「旭日双光章(春)」 高野 雅幸 殿 元 埼玉県青色申告会連合会副会長
 「旭日単光章(春)」 武井 勇二 殿 (株)キュー・アイ社長
 「瑞宝単光章(春)」 渋谷 文昭 殿 東京計器(株)油圧制御システムカンパニー技術担当部長
 「瑞宝単光章(春)」 武田 竹久 殿 民生・児童委員

「瑞宝双光章(秋)」 笠松 章 殿 元 京成電鉄(株)宗吾工場長
 「瑞宝単光章(秋)」 小林 満雄 殿 元 北海道士別地方消防事務組合士別市消防団長
 「瑞宝単光章(秋)」 鈴木 裕 殿 元 警察庁技官
 「藍綬褒章(秋)」 宇佐美 徹 殿 アルバイン(株)顧問

■ 著名な卒業生など 敬称略。ほかに多くの著名な卒業生がいます。

横河 一郎 横河電機(株)の創業者のひとり。大正時代に欧米を視察し、電気計測器の国産化に成功。同社製の実演装置等を保管。同社は工業計器首位。制御機器と計測器が2本柱。
 内田 鐵 衛 (株)コロナの創業者。日本初の軽油を燃料とした「加圧式液体燃料コンロ」の開発に成功し実用化。同社は石油暖房機器、空調、温水機器が主力。
 高橋 勲次郎 日本電子(株)創業者で電子顕微鏡の実用化に成功。同社は世界最高の分解能を誇る電子顕微鏡で、世界シェアが高い。
 福田 孝 フクダ電子(株)の創業者。国産心電計の開発に成功。同社は医用電子機器メーカーとして循環器系に強く、心電計でトップ。千葉ニュータウンキャンパス福田記念国際交流センターを寄贈。
 梶尾 俊雄 カシオ計算機(株)創業者の梶尾4兄弟のひとり。世界初の小型純電気式計算機「14-A」、電卓、時計、電子楽器など発明品は多数。同社は電波時計、電子辞書で高シェア。東京千住キャンパスに同氏を顕彰したカシオホールがある。(※本学名誉博士)
 手島 透 自動車載の液相式高輝度赤色LEDを開発・実用化し、LED産業発展の基礎を築く。スタンレー電気(株)技術研究所長、代表取締役を歴任。紫綬褒章受章。(※本学名誉博士)
 ズハール インドネシア共和国国家イノベーション委員会会長、アルアズハル・インドネシア大学学長を経て、インドネシア政府要職を歴任。旭日重光章受章。(※本学名誉博士)
 新田 次郎 直木賞作家、気象学者。気象庁に勤務しながら本学を卒業。「強力伝」で直木賞。自らの体験に根ざした『富士山頂』や『聖職の碑』などの山岳小説で有名。紫綬褒章受章。
 熊谷 達也 直木賞作家。東北や北海道の民俗、文化、風土に根ざした小説『邂逅の森』で、山本周五郎賞と直木賞をダブル受賞。『漂泊の牙』で新田次郎文学賞。
 円谷 英二 特殊映画監督。元円谷プロダクション社長。ウルトラマンやゴジラなど、昭和の特殊撮影技術の第一人者で、特撮の神様と称される。(電機学校在籍)
 飯島 勲 元小泉純一郎内閣総理大臣秘書官。衆議院議員公設秘書、各大臣の秘書官、内閣官房参与等を歴任。
 田村 信一 元日本テレビ放送網(株)取締役専務執行役員。テレビ放送デジタル化を推進。第62回前島密賞。

■ 社会に貢献する東京電機大学

● 丹羽保次郎記念論文賞

初代学長で日本の十大発明家に数えられる故丹羽保次郎博士の電気通信技術に対する功績を記念し、大学院生等を対象に1977(昭和52)年に設立されました。2018(平成30)年度は7件の推薦応募があり、審査の結果、次の2名の方が受賞されました。(所属等は受賞時)

石原 拓実氏(東京農工大学大学院 工学府 電子情報工学専攻 博士後期課程 在学中)

受賞対象論文「Iterative Frequency-Domain Joint Channel Estimation and Data Detection of Faster-Than-Nyquist Signaling」

齋 申氏(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 研究員)

受賞対象論文「Performance Analysis for Lossy-Forward Relaying Over Nakagami-m Fading Channels」

学校法人東京電機大学学術振興基金 各賞受賞者

この基金は、本学園の研究機関及び研究者等を援助するために設け、特色ある新分野を拓く学術研究及び学術研究の国際交流等を奨励し、学術の向上発展に寄与することを目的としています。(2018(平成30)年度の受賞者、所属等は受賞時)

教育賞 代表者：**井上 淳 助教**(未来科学部ロボット・メカトロニクス学科)

標 題：学科カリキュラムにマッチした学生視点の数学問題集の半自動作成システム-MIT方式からTDU方式へ

代表者：**佐藤 慶介 教授・吉田 俊哉 教授**(工学部電気電子工学科)

標 題：プロジェクトワークショップ科目における他分野技術者との協業による自立型デザイン学習の実践

教育奨励賞 代表者：**保倉 明子 教授**(工学部応用化学科) **田中 里美 講師**(工学部自然科学系列)

標 題：PBLを活用したグリーンケミストリー教育の実践

発明賞 【教員・嘱託部門】**松浦 昭洋 准教授**(理工学部理工学科情報システムデザイン学系) **近藤 悠馬・白根 弘士**(理工学部情報システムデザイン学系4年)

発明の名称「組立構造体」

【学生部門】**永堀 智美**(理工学研究科理学専攻)

発明の名称「化合物、並びにそれを用いた糖化合物の検出材料及び検出方法」

論文賞 **原 隆 助教**(未来科学部数学系列)

論文名「The cyclotomic Iwasawa main conjecture for Hilbert cusp forms with complex multiplication」

マスコミで注目された教職員

加藤 政一 工学部 電気電子工学科教授 北海道胆振東部地震停電、九州の再生可能電源の出力抑制に際し、テレビ・新聞で解説やコメント。

安田 進 名誉教授、元理工学部 建築・都市環境学系教授 北海道胆振東部地震による札幌市内の液化化被害や厚真町の斜面崩壊、西日本豪雨による広島県の土石流災害についてテレビ・新聞で解説やコメント。

山本 宏樹 理工学部 共通教育群准教授 体罰問題、不登校やいじめなどについてテレビ・ラジオ・新聞等で解説やコメント。

本学で開催された著名人の講演会 [カッコ内は開催日と主催部署等]

尾上 克郎氏 (特撮監督、株式会社特撮研究所専務取締役) 「『シン・ゴジラ』の作り方～内なる常識破壊から生み出されたイノベーション～」[6/7: 経営同友会]

大澤 敏氏 (金沢工業大学学長) 「研究ブランディングと教育改革」[7/20: 教育改善推進室]

青山 友紀氏 (東京大学名誉教授) 「東京オリ・パラ後の日本V字回復に向けて～ポスト情報社会の到来～」[10/18: 経営同友会]

内海 房子氏 (独立行政法人国立女性教育会館理事長) 「タイバーシティの促進 女性エンジニア育成・活躍促進に向けて」[11/7: 電子情報通信学会信号処理研究専門委員会]

福田 敏男氏 (IEEE 次期会長(2020年～)、名城大学教授、名古屋大学名誉教授) 「マルチスケールロボットの研究から学んだ研究の“おもしろさ”」[1/10: 未来科学部]

東京電機大学出版局の活動紹介

教科書、技術書、学術書、啓発書や文部科学省教科書など多くの出版物を刊行し、社会から高い評価を得ています。2018(平成30)年度は『通信工学の基礎』『新版 電気基礎 上・下』『ICT・IoTのためのアンテナ工学』『医用工学の基礎』など23点の新刊書籍、重版61点を刊行しました。2018(平成30)年9月に神田から千住に移転。日本書籍出版協会、大学出版部協会、工学書協会、日本出版学会等に所属。



● 教育・研究の公開

教育の公開や社会貢献などを行っています。(カッコ内は主催部署等)

講演会、公開講座等から

「第2回 医療機器国際展開技術者育成講座」(産官学交流センター)

「サイバーセキュリティシンポジウム2019 in TDU」(研究推進会社連携センター)

「第42回 ME講座」(産官学交流センター)

その他、各キャンパスで子ども向け各種講座を開催しました。

「オルセー美術館リマスターアート展」

「東京における和風スマートシティ実現をめざすシステムデザイン成果発表会」

「小学生ものづくり教室」(ものづくりセンター)

「子ども大学はとやま」

● 大学発ベンチャー紹介

(教職員が役員企業 2019年4月現在)

会社名	概要
ネプラス(株)	設立年月: 2000(平成12)年5月 業務概要: 高速高精度3次元位置測定システム等の開発、販売等 本学関係者: 代表取締役: 新準 靖 教授(システムデザイン工学部情報システム工学科)
(株)映創初演	設立年月: 2009(平成21)年9月 業務概要: 情報処理・画像処理に関するソフトウェアとハードウェアの研究・開発及び販売 本学関係者: 代表取締役: 安田 浩 教授
日本バイオファイナリー(株)	設立年月: 2019(平成31)年1月 業務概要: 再生可能資源(バイオマス)を原料とした製品の製造技術開発、製品開発、輸出入及び国内販売 本学関係者: 発起人: 椎葉 究 教授

●産官学連携に関する交流会

東京電機大学経営同友会

大学ならびに校友会の協力・連携の下に産学協同のネットワークとして2001(平成13)年に発足。現在の正会員数は100名を超えています。

TDU産学交流会(埼玉鳩山キャンパス)

埼玉県内の企業と理工学部との交流会として1990(平成2)年に発足。現在の会員は23社です。

●地域連携活動に関する施設

創業支援施設「かけはし」

東京千住アネックスにて、足立区から補助を受けて、創業支援施設「かけはし」を2011(平成23)年12月から運営しています。

インキュベーションオフィス14室とシェアードオフィス12ブースがあります。

旧足立区立の中学校を利活用した事業として注目されています。

■学生の活躍

学生の活躍・団体イベント(所属等は受賞当時)

陸上競技部が「第17回スプリングカーニバル」で入賞

5/26に八王子で行われた「第17回スプリングカーニバル」にて、山口幸嗣さん(先端機械工学科3年)が200m走総合4位、加賀洋行さん(電気電子工学科3年)が走高跳総合4位、鈴木裕太さん(機械工学科2年)が走高跳総合6位、坂巻祐馬さん(情報通信工学科2年)が三段跳総合1位、増本壮一郎さん(生命理工学系2年)三段跳総合2位に入賞しました。

自動車部3チームが「Honda エコマイレージ2018 もてぎ大会」に出場し、1チームが優勝

理工学部自動車部3チームが6/23ツインリンクもてぎで開催された「Honda エコマイレージ2018 もてぎ大会」に参加しました。今大会には同部からオリジナル車両を競う大学生クラス2チーム、市販のバイクで競う二輪車クラス1チームの計3チームでエントリーし、そのうち1チームが優勝を果たしました。

東京千住キャンパス放送委員会の映像作品が最優秀賞、CM賞を受賞

OMEC主催「夏のモニター会」において、東京千住キャンパス放送委員会の映像作品が最優秀賞、CM賞を受賞しました。斬新なスタイルだけではなく編集力も認められ、他大学を抑えての連覇となりました。「春のモニター会」においても、作品賞2位、CM賞を受賞しました。

TDU Space project が2019年「種子島ロケットコンテスト」で審査員特別賞を受賞

TDU Space project が3/6~9鹿児島県で開催された「種子島ロケットコンテスト」に出場し、審査委員特別賞「ベストプレゼン賞(コスモテック賞)」を受賞しました。

フォーミュラSAEプロジェクトが「2018 Formula SAE Australasia」に出場

埼玉鳩山キャンパスのフォーミュラSAEプロジェクトが12/6~9にオーストラリアのサーキット、Winton Motor Raceway で開催された「2018 Formula SAE Australasia」に出場しました。

バスケットボール部が「関東理工系大学バスケットボール連盟 3部リーグ優勝」

関東理工系リーグで優勝し、2部リーグに昇格が決まりました。また、個人でも得点ランキング2位、アシストランキング1位になりました。

「GPS・QZSSロボットカーコンテスト2018」で準優勝

11/11に東京海洋大学越中島キャンパスで行われた「GPS・QZSSロボットカーコンテスト2018」に チームTDU_Craft.Lab(情報環境学科3年 安倍賢二、阿部行秀、鈴木翔梧、林直樹、武藤大地)が参加しました。19チーム中、準優勝することができました。

「2018全日本エンデュロ選手権 第6,7戦 SUGO大会」で総合優勝

「2018全日本エンデュロ選手権 第6,7戦 SUGO大会」で飯塚翼さん(先端機械工学科2年)が総合優勝しました。年間ポイントランキングでも3位 国際A級に昇格しました。

団体活動やイベントへの参加

「第13回ゴミ拾い大作戦」を開催

クリーンプロジェクトの一環として、ボランティアサークル「らいふ」が中心となり、ゴミ拾い大作戦を開催しました。キャンパス内外の清掃にたくさんの学生・教職員が参加しました。(7/5、12/11)

「電大ガールズpresents ピカッとキラッと電子工作」を開催

ギャラクシティとの連携企画として、本学女子学生による団体、電大ガールズが、子どもたちと電子回路キットを組み立てるワークショップを開催しました。(7/31)

「第29回IDCロボットコンテスト大学国際交流大会 in Japan」に参加

校内選考会を通過した6名が「第29回IDCロボットコンテスト大学国際交流大会 in Japan」に参戦しました。(8/6~8/18)

「千住本氷川神社例祭」への協力

千住本氷川神社例祭において実施された千住旭町会、千住本氷川旭睦会の神輿担ぎに体育会本部及び旭祭実行委員会が協力しました。(9/16)

「学園通りフェア2018」への協力

千住旭町学園通り商店街振興組合主催の「学園通りフェア2018」に本学の学生団体(コーストジャズ・オーケストラ、吹奏楽部)が演奏を行ったほか、旭祭実行委員会が運営スタッフとして協力しました。(9/23)

「千住フェスタ」への協力

北千住マルイ主催の「千住フェスタ」に本学の学生団体(競技かるた同好会、コーストジャズ・オーケストラ、吹奏楽部、マジックサークル)が参加し、イベントを盛り上げました。(10/13、10/14、10/20、10/27)

「第47回タートルマラソン国際大会」への協力

(公社)日本タートル協会主催の「第47回タートルマラソン国際大会」にボランティアサークル「らいふ」が運営スタッフとして協力しました。(10/21)

「大学で星を見てみよう」を開催

埼玉鳩山キャンパスにて学生が企画した地域交流イベントとして、中学生・高校生を対象とする天体観測会「大学で星を見てみよう」を開催しました。(12/21)

東京電機大学後援会(在校生父母の会)

在学生の保証人の方々などを会員とする組織で、保証人の方々や大学との意思疎通を図る役割を担い、会員・学生のために様々な事業を展開しています。会誌『学苑』の発行のほか、各キャンパス及び全国10会場で父母懇談会を開催、「父母のための東京電機大学ガイド」の発行、メールマガジンの配信等を行っています。また、学生のクラブ、学園祭、体育祭への補助を行っています。2018(平成30)年度の父母懇談会には1,655組、2,455名(キャンパス会場1,401組2,062名、地方会場254組393名)のご父母の皆さまにご参加いただきました。

■ 中学校・高等学校の取り組み

● 東京電機大学中学校・高等学校の校訓

人間らしく生きる

τό ἀνθρωπίνως ξὴν μανθάνομεν.
～人間らしく生きることを学ぶ～

中学校の教育方針

生徒と教員の信頼関係を大切にしながら、自主性や社会性、学習への積極的な姿勢を育み、6年後の大きな飛躍へと導く。

中学1年:生活・学習両面の自主性を高める

中学2年:自立した学習法を習慣化する

中学3年:将来の目標を定めるきっかけをつかむ

● 教育目標

生徒一人ひとりが個性を伸ばし、豊かな人間性と高い知性と強靱な体をそなえ、新しい時代と国際社会の中で活躍し、信頼と尊敬を得る人間となるよう教育する。「豊かな心・創造力と知性・健やかな身体」をそなえた人を育てることが、本校の目標です。

高等学校の教育方針

大学入試に対応できる学力をつけるだけではなく、さまざまな職業に対する知識を深めることで生徒の希望する進路へと導く。

高校1年:現実的な視点に基づく進路選択眼を養う

高校2年:進路目標を学習意欲に結びつける

高校3年:目標達成に向けて全力で取り組む

● 志願者数

(人)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
中学校	1,096	988	913	960	1,198
高等学校	393	335	458	472	494
合計	1,489	1,323	1,371	1,432	1,692

● 進路状況

高等学校

	本学(学部)	他大学・短大	専門学校	就職	その他
普通科(225人)	21人	145人	5人	1人	53人

中学校

	内部進学	他校進学
中学校(166人)	153人	13人

● 進路(高等学校 教育の取り組みの成果)

ほぼ全員が進学希望。2019年度卒業生現役進学率:76.4% 東京電機大学への2019年度入試 卒業生内部推薦:9.3%

2019年度入試 主な大学入試合格状況(現役生の延べ人数。2019年4月3日現在)

国公立大学 首都大学東京 2名、東京海洋大学 1名、東京外国語大学 1名、東京農工大学 1名、弘前大学 1名、山梨大学 1名、神戸大学 1名、岡山大学 1名、職業能力開発総合大学校 1名、防衛大学校 1名

私立大学 早稲田大学 3名、慶應義塾大学 1名、上智大学 2名、東京理科大学 9名、学習院大学 6名、明治大学 9名、青山学院大学 6名、立教大学 4名、中央大学 9名、法政大学 5名、成蹊大学 10名、成城大学 1名、明治学院大学 3名、武蔵大学 3名、日本大学 21名、東洋大学 9名、駒澤大学 1名、専修大学 1名、芝浦工業大学 9名、工学院大学 10名、東京都市大学 10名、酪農学園大学 1名、城西大学 5名、獨協大学 2名、千葉工業大学 3名、亜細亜大学 2名、桜美林大学 3名、杏林大学 6名、北里大学 7名、国士舘大学 2名、順天堂大学 2名、拓殖大学 8名、多摩美術大学 1名、玉川大学 2名、大東文化大学 2名、帝京大学 6名、帝京科学大学 4名、帝京平成大学 5名、東海大学 9名、東京経済大学 2名、東京工科大学 8名、東京工芸大学 2名、日本体育大学 1名、武蔵野大学 6名、明星大学 12名、和光大学 2名、神奈川大学 3名、麻布大学 1名、東京農業大学 17名、東京薬科大学 6名、日本歯科大学 1名、日本獣医生命科学大学 5名、明治薬科大学 2名、跡見学園女子大学 1名、大妻女子大学 1名、学習院女子大学 1名、共立女子大学 1名、駒沢女子大学 2名、昭和女子大学 4名、実践女子大学 6名、東京女子大学 1名、日本女子大学 1名、東京女子体育大学 1名、日本女子体育大学 2名、同志社大学 1名、立命館大学 2名、関西大学 1名、近畿大学 1名、関西学院大学 2名

東京電機大学 [学内推薦 21名] (昨年度23名)システムデザイン工学部7名、未来科学部6名、工学部6名、理工学部2名、[一般受験合格者 11名] (昨年度21名)

● 中学校の受賞・成績

- 日本私立中学高等学校連合会賞
- 第37回東京都中学校第7～11ブロック体重別柔道選手権大会 男子73kg以下級 第3位
- 放送部:第18回全国中学校総合文化祭 東京都代表
- バスケットボール部:第70回小金井市民体育祭 中学生バスケットボール大会 男子の部優勝/女子の部優勝
小金井市春季バスケットボール大会 男子フリーの部 準優勝/女子フリーの部 優勝/女子1年生の部 準優勝
- 柔道部:第6回東京都中学校第7～11ブロック新人体重別柔道選手権大会 男子60kg以下級第2位/男子66kg以下級 第3位/女子57kg以下級 第3位
- 水泳同好会:多摩地区中学校水泳大会競技大会兼第24回FINAL MATCH 女子100M自由形第3位/男子100M平泳ぎ第5位/男子50Mバタフライ第8位
中体連多摩地区中学校水泳部研修大会 男子100M平泳ぎ第6位/新人男子50Mバタフライ第4位/男子50M平泳ぎ第4位/男子100M平泳ぎ第5位/男子50Mバタフライ第3位
- サッカー部:第49回小金井市ファイナルマッチ2018中学生大会 準優勝
- バドミントン部:小金井市バドミントン選手権大会 中学女子シングルス 第2位
- パナソニック主催 キッド・ウィットネス・ニュース日本コンテスト2018 佳作
- 第46回東京私立中学高等学校「生徒写真・美術展」美術の部 特選/入選
- 第17回吉野秀雄顕彰短歌大会 佳作
- 第29回伊藤園「お〜いお茶」新俳句大賞 佳作特別賞/佳作
- 全国納税貯蓄組合連合会主催 第52回「中学生の税についての作文」都税事務所長賞/優秀賞

● 高等学校の受賞・成績

- 東京都知事賞
- 東京都私学財団賞
- 日本私立中学高等学校連合会賞
- 高校生新聞社賞
- (公益財)東京都体育協会並びに東京都高等学校体育連盟賞
- 東京都高等学校文化連盟賞
- 東京都高等学校野球連盟賞
- 東京都高等学校吹奏楽連盟理事長賞
- 鉄道研究部:第10回全国高等学校鉄道模型コンテスト【中高共通】1重レイアウト部門 加藤祐治賞(※全国2位相当)/モジュール部門 ベストクリティイ賞
- 柔道部:第67回全国高校総合体育大会柔道競技大会 第四支部予選会 男子81kg以下級 第5位
- 第68回三鷹市市民体育祭スポーツ大会柔道競技 段外の部 準優勝/初段の部 優勝
- 第4支部新人柔道大会 男子個人有段の部 81kg以下級 第5位
- バドミントン部:第70回小金井市民体育祭 高校男子シングルス 準優勝/高校男子シングルス 第3位第106回小金井市バドミントン連盟大会 高校男子ダブルス 第3位 第108回小金井市バドミントン連盟大会 男子シングルス 準優勝/男子シングルス 第3位
男子ダブルス 優勝/男子ダブルス 第2位
- 水泳同好会:第70回小金井市民体育祭 女子50mバタフライ 第1位/男子200mリレー 第2位/女子200mメドレーリレー 第1位
- 第46回東京私立中学高等学校「生徒写真・美術展」美術の部 入選
- 第22回全国高校生創作コンテスト 短編小説の部 入選
- 吹奏楽部:第58回東京都高等学校吹奏楽コンクール C組銀賞 第42回東京都高等学校アンサンブルコンテスト クラリネット4重奏 銀賞
- 第3回「パワーオブイノベーション2019」グランプリ/オーディエンス賞

データ集

●資産

キャンパス総面積	698,665.41㎡
東京千住キャンパス	: 26,221.39㎡
埼玉鳩山キャンパス	: 348,469.68㎡
千葉ニュータウンキャンパス	: 205,058.00㎡
東京小金井キャンパス	: 22,023.48㎡
東京千住キャンパス千住東グラウンド	: 7,918.86㎡
平岡総合グラウンド	: 88,974.00㎡
図書蔵書数	215,843冊
学生用図書	: 199,805冊
研究用図書	: 16,038冊
雑誌	: 2,089タイトル
電子ジャーナル	: 約7,470タイトル
電子ブック	: 約51,000タイトル
コンピュータ台数	
ネットワーク接続	: 約8,700台

●学生数(人)

大学	9,917 (1,244)	() 内は女性数で内数
大学院		
先端科学技術研究科	博士: 43 (3)	
工学研究科	修士: 320 (20)	
理工学研究科	修士: 232 (31)	
情報環境学研究科	修士: 55 (4)	
未来科学研究科	修士: 274 (41)	
工学部	2,807 (210)	
工学部第二部	735 (59)	
理工学部	2,745 (354)	
情報環境学部	308 (44)	
未来科学部	1,602 (337)	
システムデザイン工学部	796 (141)	
高等学校	807 (219)	
中学校	479 (137)	

●定員(人)

大学院	入学定員	収容定員
大学院先端科学技術研究科(博士)	32	96
大学院工学研究科(修士)	170	340
大学院理工学研究科(修士)	122	244
大学院情報環境学研究科(修士)	40	80
大学院未来科学研究科(修士)	145	290
学部		
工学部		
電気電子工学科	120	480
電子システム工学科	90	360
応用化学科	80	320
機械工学科	110	440
先端機械工学科	100	400
情報通信工学科	110	440
工学部第二部		
電気電子工学科	60	240
機械工学科	60	240
情報通信工学科	60	240
理工学部		
理工学科	600	2,400
未来科学部		
建築学科	130	520
情報メディア学科	110	440
ロボット・メカトロニクス学科	110	440
システムデザイン工学部		
情報システム工学科	130	520
デザイン工学科	110	440
高等学校	250	750
中学校	150	450

●卒業生数 222,416人

●関連機関 一般社団法人東京電機大学校友会 東京電機大学後援会

(2019年5月1日現在)

●修了者・卒業者数 (2018年度)

			昼	夜	合計
大学	大学院	先端科学技術研究科 博士課程(後期)	7	—	7
		工学研究科 修士課程	145	—	145
		理工学研究科 修士課程	103	—	103
		情報環境学研究科 修士課程	18	—	18
		未来科学研究科 修士課程	126 ※(1)	—	126
学部	工学部	636 ※(2)	—	636	
	工学部第二部	—	122 ※(3)	122	
	理工学部	605 ※(4)	—	605	
	情報環境学部	243 ※(5)	—	243	
	未来科学部	363 ※(6)	—	363	
高等学校			225	—	225
中学校			166	—	166
合計			2,637	122	2,759

※(1)2018年9月修了者1名を含む。
 ※(2)2018年9月卒業生6名、3年の修学による早期卒業生1名を含む。
 ※(3)2018年9月卒業生3名を含む。
 ※(4)2018年9月卒業生3名、3年の修学による早期卒業生4名を含む。
 ※(5)2018年8月卒業生24名を含む。
 ※(6)2018年9月卒業生4名、3年の修学による早期卒業生2名を含む。

●役員・従業員数 (2019年5月1日現在)

役員等					
理事	監事	評議員	顧問	学資	参与
14	2	48	2	19	38

専従者									
	教員職員	教育嘱託	任期付教員	特別専任教授	事務職員	事務嘱託	技術職員	技術嘱託	計
法人	0	0	0	0	36	0	1	1	38
大学	219	49	69	9	111	11	8	1	477
高等学校	37	3	0	0	4	0	0	0	44
中学校	22	2	0	0	3	0	0	0	27
小計	278	54	69	9	154	11	9	2	586
事業本部	0	0	0	0	8	0	0	0	8
校友会	0	0	0	0	2	1	0	0	3
合計	278	54	69	9	164	12	9	2	597

学生職員・補助職員						
	法人	大学	中・高	事業本部	校友会	計
学生職員	0	57	0	0	0	57
補助職員	1	46	8	3	2	60
合計	1	103	8	3	2	117

外来教員				
	大学	高校	中学	計
非常勤教員	522	37	23	582

業務委託・人材派遣						
	法人	大学	中・高	事業本部	校友会	計
業務委託・人材派遣	15	93	2	7	2	119

入試コーディネーター等労働契約者						
	法人	大学	中・高	事業本部	校友会	計
週5日以上勤務者	1	7	1	3	0	12

データ集

●学生募集状況

学部志願者数 (一般・センター入試) (人)

学部	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	9,086	8,274	9,977
工学部第二部	672	690	1,120
理工学部	4,611	5,863	6,565
情報環境学部			
未来科学部	4,746	4,698	6,131
システムデザイン工学部	4,139	3,631	4,428
合計	23,254	23,156	28,221

大学院志願者数 (人)

研究科	2017年度	2018年度	2019年度
先端科学技術研究科	13	12	10
未来科学研究科	152	128	163
工学研究科	161	175	175
理工学研究科	125	118	150
情報環境学研究科	26	32	24
合計	477	465	522

※2017年度/2019年度には9月入試志願者数を含む。

●進路状況 (2018年度修了者・卒業者)

大学

- (1) 求人申込企業数 15,590社
- (2) 求人数 220,716人
- (3) 就職希望登録者及び決定者数

内訳		登録者数	決定者数	内定率
大学院	工学研究科 修士課程	139人	138人	99.3%
	理工学研究科 修士課程	94人	92人	97.9%
	情報環境学研究科 修士課程	18人	18人	100.0%
	未来科学研究科 修士課程	117人	114人	97.4%
学部	工学部	438人	435人	99.3%
	工学部第二部	84人	78人	92.9%
	理工学部	403人	400人	99.3%
	情報環境学部	182人	181人	99.5%
	未来科学部	206人	205人	99.5%
合計	1,681人	1,661人	98.8%	

(4) 規模別就職者数

- 大企業 (資本金10億円以上) 874人
- 中企業 (資本金1億円~10億円未満) 425人
- 小企業 (資本金1億円未満) 362人
- その他 (公務員、教員等) 50人

(5) 大学院進学状況

本学大学院進学者	工学部	148人
	工学部第二部	5人
	理工学部	122人
	情報環境学部	21人
	未来科学部	137人
他大学院進学者	工学部	11人
	工学部第二部	1人
	理工学部	13人
	情報環境学部	0人
	未来科学部	5人

※上記には、早期卒業による本学大学院進学者、他大学大学院進学者の工学部1名、未来科学部2名、理工学部4名を含む。

●寄付状況 (2018年度学校法人東京電機大学サポート募金) [期間 2018年4月1日~2019年3月31日]

学校法人東京電機大学サポート募金

使途指定	在校生ご父母	卒業生 (関係団体含む)	役員・教職員 (元教職員含む)	法人	一般賛同者	合計
奨学金	21件	58件	18件	5件	4件	106件
	257,000円	1,063,000円	530,000円	1,135,000円	592,232円	3,577,232円
施設・設備	188件	29件	7件	14件	4件	242件
	3,448,702円	1,099,110円	605,000円	11,195,000円	1,350,000円	17,697,812円
課外活動	134件	19件	24件	5件	5件	187件
	2,110,000円	1,647,500円	799,000円	1,455,000円	170,000円	6,181,500円
創立110周年記念事業募金	22件	62件	26件	15件	0件	125件
	285,000円	11,326,500円	11,370,000円	14,620,000円	0円	37,601,500円
その他・指定なし	113件	112件	3件	7件	3件	238件
	2,078,000円	1,399,046円	300,000円	925,000円	195,993,582円	200,695,628円
合計	478件	280件	78件	46件	16件	898件
	8,178,702円	16,535,156円	13,604,000円	29,330,000円	198,105,814円	265,753,672円

■ データ集

● 1年次学費一覧

2019年度

(単位:円)

科目/研究科		先端科学技術研究科	未来科学研究科 (建築学専攻)	未来科学研究科 (建築学専攻以外)/ 工学研究科	理工学研究科/ 情報環境学研究科	工学研究科 (社会人コース)
学 費	入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	授業料	505,000	590,000	505,000	505,000	336,650
	教育充実費	—	5,000	5,000	—	3,350
受託諸会費 (前期のみ)	校友会費積立金	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	学研災	2,600	1,750	1,750	1,750	2,600
	学研賠	1,020	680	680	680	1,020
入 学 期 (入学諸費用)		764,620	853,430	768,430	763,430	599,620
後 期		505,000	595,000	510,000	505,000	340,000
合 計 (年額)		1,269,620	1,448,430	1,278,430	1,268,430	939,620

(単位:円)

科目/学部		未来科学部(建築学科)	システムデザイン工学部/ 未来科学部(建築学科以外)/ 工学部	理工学部	工学部第二部 ※学費単位従量制
学 費	入学金	250,000	250,000	250,000	130,000
	授業料	453,500	453,500	453,500	60,800
	履修単位従量額	—	—	—	(@12,400×履修単位数)
	実験実習料	95,500	75,000	75,000	—
	教育充実費	172,000	172,000	152,000	87,250
受託諸会費 (前期のみ)	後援会費	5,000	5,000	5,000	4,000
	自治会費	5,500	5,500	5,500	5,000
	自治会入会金	1,000	1,000	1,000	1,000
	校友会費積立金	6,000	6,000	6,000	6,000
	学研災	3,300	3,300	3,300	1,400
	学研賠	1,360	1,360	1,360	1,360
入 学 期 (入学諸費用)		993,160	972,660	952,660	296,810+ (@12,400×履修単位数)
後 期		721,000	700,500	680,500	148,050+ (@12,400×履修単位数)
合 計 (年額)		1,714,160	1,673,160	1,633,160	444,860+ (@12,400×履修単位数)

その他インフォメーション

学術資料

●クラーク文庫：エジソンの共同研究者の特別集書

アメリカの電気工学者、チャールズ・クラークが所蔵していました。クラークはエジソンの共同研究者で、電気技術の発展に大いに貢献しました。19～20世紀の電気学、物理学、工学など科学技術に関する約500点で構成され、古典とされるアンペール、ファラデー、ヘルツ、オーム等の初版本も含まれています。

●科学技術和本文庫

江戸から明治時代前半の科学・技術の文献約200点を収集したもので、わが国でも数少ない和本コレクションです。大半は木版印刷による和綴書ですが、毛筆書きの写本や書簡も含まれます。鎖国体制下に始まる蘭学の時代から明治の文明開化に至るまでの、日本の科学・技術の流れをたどることができる貴重な資料です。



●山岡文庫

山岡望(1892(明治25)～1978(昭和53)年)は、わが国の化学教育と化学史研究の草分け的存在です。山岡文庫は、氏が生前に収集した文庫類約280点を集めたもので、洋書や雑誌類も数多く含まれています。単に図書としてではなく、歴史に残る化学教育者・化学史家が使用した文献という意味でも、貴重な歴史資産です。

貴重資料

●エジソン蓄音機

音を出し入れできる器械の出現の夢を、1877(明治10)年に遂にエジソンが達成。日本には2年後の1879(明治12)年に紹介されました。(本学展示は、「トライアンプ Model Cand D 形式」の蓄音機)



●エジソンダイナモ

エジソン形直流発電機は、エジソンが1879(明治12)年に発明し、自らエジソン社を創立、この機械を製造しました。現存しているのは本学のほか、東京大学、東京国立博物館、東京理科大学の3台だけで、しかも発電可能なものは本学の1台のみで、歴史的にも貴重なものです。



●その他

他に本学創立期の実演教育に活用された、直流電位差計、P.O.箱(Post-Office-Box)、昭和初期の五球再生式ラジオ、昭和30年代の電動式モンロー計算機、日本初の「日本語ワードプロセッサ」も理工学部にて展示しています。

学校法人東京電機大学サポート募金

「学校法人東京電機大学サポート募金」は、各キャンパスでの事業や学生・生徒活動などのさらなる推進をご支援いただくことを目的に、寄付の用途を指定いただける募金として2013(平成25)年にスタートしました。(研究に関しては研究活動奨励寄付金としてお受けいたしております) 皆さま方のご支援・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

高額寄付(1,000万円以上)の受入状況

企業	金額	個人	金額
足立成和信用金庫様	10,000,000円	加藤 康太郎 様	10,000,000円
錦電サービス株式会社様	10,000,000円	故 深井 綾 様	194,983,582円



- ネーミングライツご紹介：寄付者の名前を冠した施設 カシオホール、神山記念ラウンジ、井上記念学生ラウンジ、松本記念学習ホール、福田記念セミナー室
- 座席にお名前を顕彰：学園のメインホール東京千住キャンパス1号館2階丹羽ホールに累計100万円以上の募金を頂いた方のお名前を顕彰いたしております。

大学校章

1939(昭和14)年3月の高等工業学校設置時に、「近代文明の根幹をなす電機工業の源泉たる電気現象を表現するとともに、さらにこれを通じて生々無息なる宇宙造化を意味するものなり」として、稲妻をモチーフにした図案が制定されました。その後、1949(昭和24)年の大学開設に際して、その図案と文字を組み合わせ、東京電機大学の校章として制定されました。



ロゴ・マーク

大学開設以来の工学部に加え、1977(昭和52)年には理工学部を設置し、東京電機大学は単科大学から理工系総合大学になりました。英文名称もそれまでの Tokyo Electrical Engineering College (TEEC) から、Tokyo Denki University (TDU) に変更しました。1984(昭和59)年、創立75周年記念事業として、神田のキャンパスに17階建ての11号館を建設する際、外壁に大学名と「TDU」を表示することになり、この3文字がデザインされました。「TDU」は校舎や各種広報物などに使用されています。



学園公認徽章

スクールカラーの紺青をベースとし大学校章の通称稲妻マークを中央、TDUを上部、校名を下部に配置。教職員、在校生、卒業生等が着用しています。(2009年7月制定)



大学エンブレム

学園公認徽章を踏まえ、愛校心涵養や国際交流など格式を重んじる場面等で活用されるエンブレムをデザインし制定しました。(2011年5月制定)

